

論文

メディア・シンフォニック電子教科書の開発

—高校グローバル単元『韓国社会—宗教と日常生活—』—

金子邦秀[†]

要約：本研究の目的は、社会系のメディア・シンフォニック電子教科書の開発を、高等学校用グローバル教材単元ソフトの作成を通じて試みることにある。

本研究の成果は、1) 韓国について、グローバルな理解を背景に、その基礎をなすローカルな理解を併せて育成する教材ソフトとそのソフトを有効活用する紙媒体の指導案のモデルを提唱することができたこと、2) OSフリーな社会系の教材開発の手法をしめすことで、この種の教材に関心のある教師にインセンティブを与える提案ができたこと、にある。

もっとも、本研究は、継続的研究としての著者による先行研究はあるが、『韓国』シリーズとしては最初のパイロット的な研究であり、シリーズとして進行し、完結に至る時には変更点が生じることをお断りしておきたい。

キーワード：メディア・シンフォニー 電子教科書 グローバル教材単元ソフト 韓国 指導案

目次

1. はじめに
2. 電子教科書単元ソフト『韓国社会』の基本的設計
 - 2-1. システム設計及び各ページ設計のポイント
 - 2-2. 各ページ設計
 - 2-3. 各ページのイメージ
 - 2-4. 電子教科書単元『韓国社会—宗教と日常生活(1)宗教 A 儒教』のページを構成するスクリプト
 - 2-5. データ設計のポイント
3. 電子教科書単元『韓国社会—宗教と日常生活』の具体的な教材設計
 - 3-1. 『韓国社会—宗教と日常生活』の基本的な構想
4. 電子教科書単元ソフト『韓国社会—宗教と日常生活』開発のねらい
 - 4-1. 内容面と方法面のねらい
 - 4-2. 到達目標（個別的知識から導かれる概括的知識）
5. メディアシンフォニック電子教科書とアクティビティ・マニュアルを併用した単元『韓国社会—宗教と日常生活』の学習
 - 5-1. メディアシンフォニック電子教科書とアクティビティ・マニュアルを併用した『韓国社会—宗教と日常生活』の単元の全体構成
 - 5-2. (1) 韓国社会 1. 宗教 A. 儒教

[†]同志社大学社会学部教授

*2017年6月19日受付、2017年7月21日掲載決定

- 5-3. (2) 韓国の社会 1. 宗教 B. 仏教
- 5-4. (3) 韓国の社会 1. 宗教 C. キリスト教
- 5-5. (4) 韓国の社会 1. 宗教 D. 民間信仰
- 5-6. (5) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 A. 人々の一年
- 5-7. (6) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 B. 人々の一生
- 6. おわりに 中間的成果と課題
 - 6-1. 内容面の中間的成果と課題
 - 6-2. 方法面の中間的成果と課題

1. はじめに

本研究の目的は、社会系のメディア・シンフォニック電子教科書の開発を、高等学校地理歴史科／公民科（以下総称としては社会系教科）グローバル単元ソフトの作成を通じて試みることにある。

「メディア・シンフォニー」という用語は著者の造語である。その意味するところは、文字情報や映像情報が、連続、階層、ツリー、往還などの構造でリンクされ、同時に、文字や映像が拡大機能や本文読み上げ機能などコンピュータ本体に備わっているユニバーサルデザインを組み合わせることで、紙媒体の教科書ではできないことを実現することを意図した言葉である。巷間、タブレット型教科書の導入などが文科省によっても喧伝されているが、導入にはいくつかの課題がある。その最大のものは、これまで多くの教師によって行われてきた教材研究の成果を取り入れることが容易であり、かつ、学習者たちからすれば、操作性が容易でかつこの電子教科書を手掛かりにアクティブな探究の契機となることが、新たな教材である電子教科書に求められているからである。

筆者は、高校に限らず学校教育における社会系教科の本質は、社会事象を空間（地理）、時間（歴史）、普遍（公民）、そしてわたくし（自己）の4視点から捉える力を学習者につけることを使命とするところにあると考えている。しかし高校の社会系教科は学習指導要領の改訂ごとに分化と統廃合の難路を歩んでいる。グローバル社会と言われる今こそ、総合的な社会認識が必要であるとの思いから、この教材ソフトを開発した。

教材開発の目的は次の3点である。

研究目的1) 内容面では、他国について空間（地理）、時間（歴史）、普遍（公民）、そしてわたくし（自己）の4視点から捉える力を学習者につけさせること。

研究目的2) 方法面では、OSフリーで相互互換性の担保された教材ソフトを開発することで、WindowsでもMacでも使用可能な汎用性教材開発の提案をおこなうこと。

研究目的3) 教材ソフトを学習指導案（略案）形式でも提示することで、こうした教材をつかって従来の授業に替わる実践をしたい教師にも、この教材ソフトの一部を授業に

組み込みたい教師にも、さらには、この種の教材ソフト開発を試みたい教師には、教材設計の基本的なスクリプトなど手法を開示して、インセンティブを与えること。

研究目的 4) 電子教科書開発のための（共同的な）データベース構築と電子教科書の内容構成への活用の仕方を例示すること。

2. 電子教科書単元ソフト『韓国の社会』の基本的設計

電子教科書単元ソフト『韓国の社会』はいくつかの小単元ソフトから構成される。それぞれの小単元ソフトは、少しずつ設計内容を変化させていくことを予定している。しかしながら、ここでは電子教科書単元ソフト『韓国の社会』に通底する基本的な教材設計について論じておきたい。

2-1. システム設計及び各ページ設計のポイント

教材設計にあたり、本研究では、開発の機器としては以下のものを用いた。

1) CP 本体として MacBookAir (MacOS Sierra 10.12) を用いた。MacOS Sierra 10.12 は 2016 年秋にリリースされ、Apple 社から無償提供されたものを使用しているが、開発途上では、それ以前の 4 つのバージョンも使用してきた。

2) 周辺機器として、スキャナー／プリンター複合機 Epson GT-X 900, プリンター Canon ip 4300, カメラ Canon Ixy 505 などを用いた。

ソフト開発にあたり、HTML 作成にはテキスト・エディット 1.7.1 及び 1.12 (Windows であれば、メモ帳に相当)、教材閲覧には Safari 6.0.4 から 10.0 までのいくつかのバージョン (Windows であれば、Internet Explorer や Fire Fox などに相当) を用いた。また、バンドルされている iPhoto のほか、Word 2011 及び 2016, Excell 2011 及び 2016, Adobe ACROBAT X PRO 10.1.16 なども使用した。

開発された教材は一応コンピュータ内でファイルの形で完結しているものとした。というのは、高等学校のコンピュータには外部有害情報へのアクセス防止ソフトなどが組み込まれ、必要なデータにアクセスができないこと、また、多数の生徒がアクセスしようとする回線の容量をオーバーしてしまいフリーズしてしまうことも多々生じているからである。この意味では、インターネット教材は将来の課題として依然として残っていると見える。また教材の普及には、画像などでかなりの容量を必要とすることからかつての CD や DVD にかえてメモリー・スティックで提供することにした。写真は基本的に筆者が撮影したものであり著作権の制約をうけない。しかし、より完全な教材ソフトのイメージを実現するため、参考あるいは引用した画像や文献はある。それらにはすべて出典を明記した。また、成果の公表については、これら画像や資料は実験授業及び

学会での口頭発表止まりとし、本論文のように公刊する際には、特に画像などや教授資料の大半は（例示時や必要時を除き）出典のみを明記した。

2-2. 各ページ設計

図 各ページの基本スタイル

「目次へ 前のページへ つぎのページへ」〈移動のためのボタン〉	
「タイトル」「大見出し」「小見出し」 「本文」〈内容の概略的な説明〉	「調べよう・考えよう」「重要語句（=写真・図表・地図・資料（統計・年表等を含む）にリンク）」〈拡大機能〉
「Q1～Q3」〈上記本文に関係のある三択問題〉	

各ページの基本設計は前図に模式的に示されている。

1) 最上部の「目次へ 前のページへ つぎのページへ」はすべてのページに共通に掲げられ、電子教科書のページ移動に使用するボタンである。クリックするとそのページに移動し、画面には当該ページが示される。

2) の「タイトル」「大見出し」「小見出し」は各ページとも同一の構成をとっている。「タイトル」はそれぞれの単元名、「大見出し」は1～数ページで扱われる共通のジャンルや分野など、「小見出し」はさらにその中の各ページ（小単元）の主要なテーマを示している。

同じ欄の「本文」は文字通り本文であり、「大見出し」「小見出し」に関わる内容が簡潔に説明される。この本文は（すべてではないが）3) の「調べよう・考えよう」の答えを提供し、ヒントを与える。

3) の「Q1～Q3」は、3つの質問が三択の解答例とともに示されている。本文の事項を再考したり、時には、本文の事項を元に推測したりすることで、生徒の興味や関心を喚起する。3問の解答をノートした生徒は、この問題をクリックすることで、全問の正解を見ることができる。基本的には学習内容に関係のある事実に知識を問う閉じた発問であるが、正解は1つとは限らない。

4) の「調べよう・考えよう」「重要語句（=写真・図表・地図・資料（統計・年表等を含む）にリンク）」〈拡大機能〉「調べよう・考えよう」では、本文に関係した重要語句が示され、その語句をクリックすると「写真・図表・地図・資料」のページへと移行する。



5) 「写真・図表・地図・資料」のページには諸資料があり、それらを元に生徒の「調べよう・考えよう」といったアクティビティを促すヒントや教師が教材として利用する時の発問、活動の指示を示した「アクティビティ・マニュアル Activity Manual Q&A」が開発され付属している。「アクティビティ・マニュアル」には、各資料に、その資料

の内容を確認する事実に知識を問う閉じた発問と、資料によってはそれを元に生徒の発展的思考や活動を促す開いた発問とが、数問ずつ付されている。もちろん、生徒も教師もこのアクティビティ・マニュアルに沿って学習したり、教授したりする以外に、マニュアルなしに資料と取り組んで「発見学習」的に使用しても良い。

2-3. 各ページのイメージ

各ページのイメージがどのようなものか、すべてを示すことは紙数の関係でできない。そこで、ここでは、電子教科書単元「韓国の社会－宗教と日常生活－」(1) 宗教の単元のうち小単元「A 儒教」のイメージを示しておきたい。

図表 電子教科書単元『韓国の社会－宗教と日常生活 (1) 宗教 A 儒教』のページのイメージ

メディア・シンフォニック電子教科書『韓国の社会-宗教と日常生活-』	
<p>韓国の社会 (1) 宗教 A 儒教</p> <p>韓国は多宗教社会です。朝鮮半島の宗教として、なんといっても、挙げなければならないのは儒教(じゅきょう)です。韓国の人々の信仰についての調査では数字としては儒教は挙がってきません。しかし、他の宗教を信仰する人々を含め、韓国の社会を根底において支えているのが儒教です。現在の韓国が世界一の儒教大国である証拠として韓国の現行の紙幣の図柄となっている人物たちのことを指摘することができます。その韓国紙幣の中でもっとも新しく加わったのは50,000ウォン札です。これには他の紙幣とちがって女性が描かれています。この人物申師任堂(シンサイムダン)もじつは儒教と深い関係のある人物です。日常生活から、学問、政治あらゆる面で長い歴史を通じて朝鮮半島の国家・社会を秩序づけてきたのが儒教、とくに、朱子学(しゅしがく)なのです。特に、両班(リャンバン)とよばれた科挙(かきよ)を通った高級官僚やその縁者、在野の学者、そして王侯貴族によって支持され続けてきました。現在の韓国の人々の40%以上のひとびとが自分たちは両班の子孫であると思っていることもあって、現在でも、有力な思想を提供しているといえます。</p>	<p>韓国の社会 (1) 宗教 A 儒教</p> <p>多宗教社会</p> <p>韓国の儒教</p> <p>韓国の紙幣</p>  <p>申師任堂</p>  <p>朱子学</p>
<p>(1～3の答えを予想してノートに書き入れてからクリックしてください。答えが出ます。)</p> <p>Q1. 儒教を始めた人物は誰ですか? <u>A 老子 B 莊子 C 孔子</u></p> <p>Q2. 韓国の紙幣に新しく加わった50000ウォン札は日本円にするとおよそいくらでしょうか? <u>A 50000円 B 5000円 C 500円</u></p> <p>Q3. 申師任堂はどのような分野で活躍した女性だったのでしょうか? <u>A 絵画 B 福祉 C 政治</u></p>	

2-4. 電子教科書単元『韓国の社会－宗教と日常生活 (1) 宗教 A 儒教』のページを構成するスクリプト

『(1) 宗教 A 儒教』のページはどんなスクリプトなのであろうか。先の画面が電子教科書の基本的なページの実物のイメージである。

『(1) 宗教 A 儒教』自体のスクリプトは以下の通りであり、画面の4つのパートを統合したものとなっている。

「<HTML>

```

<HEAD>
<TITLE></TITLE>
<FRAMESET rows="10%,70%,20%">
<FRAME SRC="kjoS 0001.html" name="jou">
<FRAMESET cols="67%,33%">
<FRAME SRC="ksaS 0001.html" name="sa">
<FRAME SRC="kyuS 0001.html" name="yu">
</FRAMESET>
<FRAME SRC="kgeS 0001.html" name="ge">
</FRAMESET>
</HTML>」

```

上欄の「前のページへ 後ろのページへ」はページ（小单元）間の移動のためのものである。

```

「<HTML>
<HEAD> <TITLE>(1) 宗教 A 儒教</TITLE></HEAD>
<STYLE type="text/css">
<!--
BODY {background-color : #DDA 0 DD}
H 3 {background-color : #FFFF 00}
H 4 {background-color : #FFFFFF}
-->
</STYLE>
<BODY><H 4> <A HREF="ktopS 0000.html" target="_blank">前のページへ</A> <A
HREF="ktopS 0002.html" target="_blank">つぎのページへ</A></H 4></PRE>
</BODY></HTML>」

```

次に、中央左欄は電子教科書の本文である。すなわち「宗教 A 儒教」の本文であり、そのスクリプトは以下のようにになっている。

```

「<HTML>
<HEAD>
<TITLE></TITLE>

```

```

</HEAD>
<STYLE type="text/css">
<!--
BODY {background-color : #98 FB 98}
H 1 {color : #FFFFFF}
H 3 {color : #000080}
H 4 {color : #000000}-->
</STYLE>
<BODY>
<H 3>韓国の社会 (1) 宗教 A 儒教</H 3>
<BR><H 4> 韓国は多宗教社会です。朝鮮半島の宗教として、なんといっても、
挙げなければならないのは儒教（じゅきょう）です。韓国の人々の信仰についての
調査では数字としては儒教は挙がってきません。しかし、他の宗教を信仰する人々
を含め、韓国の社会を根底において支えているのが儒教です。現在の韓国が世界一
の儒教大国である証拠として韓国の現行の紙幣の図柄となっている人物たちのこと
を指摘することができます。その韓国紙幣の中でももっとも新しく加わったのは
50,000 ウォン札です。これには他の紙幣とちがって女性が描かれています。この人
物申師任堂（シンサイムダン）もじつは儒教と深い関係のある人物です。日常生活
から、学問、政治あらゆる面で長い歴史を通じて朝鮮半島の国家・社会を秩序づけ
てきたのが儒教、とくに、朱子学（しゅしがく）なのです。特に、両班（リャンパン）
とよばれた科挙（かきょ）を通った高級官僚やその縁者、在野の学者、そして
王侯貴族によって支持され続けてきました。現在の韓国の人々の40%以上の人々
が自分たちは両班の子孫であると思っていることもあって、現在でも、有力な思想
を提供しているといえます。
</H 4></BODY>
</HTML>」

```

さらに、中央右欄は電子教科書の本文である。中央左欄の本文を補足・拡大し、資料を提供する欄であり、具体的には、地図や年表、図表、写真、また各種の文字情報が小アイコンや語句として提供されるようになっている。今回別途作成されたアクティビティ・マニュアル Activity Manual Q&A によって事実的な知識や概念的な知識を獲得する際の資料を生徒や教師に提供する。資料は各種の著作などから抜粋され、出典が明記されている。そのスクリプトは以下の通りである。

まず、この欄自体は以下のスクリプトからなる。

```

「<HTML>
<HEAD>
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<STYLE type="text/css">
<!--
BODY {background-color : #E 6 E 6 FA}
H 3 {back-ground-color : #FFFF 00}
-->
</STYLE>
<BODY>
<H 3>韓国の社会 (1) 宗教 A 儒教</H 3>
<BR><A HREF="kyurS 00010.html"><H 4>多宗教社会</H 4>
<BR><A HREF="kyurS 00011.html"><H 4>韓国の儒教</H 4>
<BR><AHREF="kyurS 00012.html"><H 4>韓国の紙幣</H 4><IMG SRC="5000_won _
serieV_obverse.jpeg" WIDTH=90 HIGHT=90 alt="李栗谷"5000 ウォン札></A>
<BR><A HREF="kyurS 00013.html"><H 4>申師任堂</H 4><IMG SRC="50000 _KRW
_2009_ob.jpg" WIDTH=90 HIGHT=90 alt="申師任堂"50000 ウォン札></A>
<BR><A HREF="kyurS 00014.html"><H 4>朱子学</H 4></A>
</BODY>」

```

上記の語句のうち、

続けて、画面の右欄は、中央欄の本文を補足・拡大し、下欄の Q&A に必要な資料を提供する欄であり、具体的には、地図や年表、図表、写真、また各種の文字情報が小アイコンや語句として提供されるようになっている。

```

「<HTML>
<HEAD>
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<STYLE type="text/css">
<!--
BODY {background-color : #FFFFE 0}

```


H 1 {back-ground-color : #FFFF 00}

H 3 {color : #FF 0000}

H 4 {color : #990000}—>

</STYLE>

<BODY>

<H 1></H 1>

元へ戻る

<H 3>朱子学</H 3>

<H 4>

(東アジアのなかの朱子学) 優等生 = 朝鮮

 さて、周辺諸国への朱子学の伝播（でんぱ）と、各国なりの受容はいかなるものであったか。まずは朝鮮からみていこう。

 新羅（しらぎ）衰退後の第二次三国時代の分裂混乱を收拾したのは高麗（こうらい）王国だった。高麗建国は唐の滅亡とほぼ同時であり、当初の国制は唐・新羅の古い型を残して形成された。やがて朱子学が伝播するが、全体には仏教の指導性が強く、思想界の主流派にはなりえなかった。本格的に儒教が定着するのは、つぎの朝鮮王国においてであった。

 高麗最後の王から禅譲（ぜんじょう）されて即位した太祖李成桂（りせいけい）には、王権正統化のため明からも高麗の後継者であることを認めてもらう必要があった。君主交替の報告とあわせて、新たな国号として二つの案を出して、明の太祖に選定を求める。その結果が「朝鮮」であった。殷末の賢人箕子（きし）が東方に築いたとされる国の名称に由来する。

 太祖のブレーンとして篡奪（さんだつ）計画を諫り上げた鄭道伝（ていどうでん）は、朱子学を信奉する学者官僚であった。彼の主導のもと、朝鮮王国は朱子学を国教とする統治体制を整備する。この趨勢は鄭道伝の失脚後も継承され、世宗（せいそう）のときに完成の域に達する。だが、やがて朱子学を信奉する官僚たち同士のあいだで抗争が生じ、何層にも入り組んだ党争（とうそう）の歴史が始まる。それは朱子学解釈上の相違をもって分けられる党派ではあったが、実際には地域閥の様相が強い。しかし、とにかく、この党争をつうじて、朱子学にもとづく礼制が上は王権儀礼から下は人びとの冠婚葬祭まで、朝鮮社会に根づいていった。それと同時に、高麗時代には国家教学であった仏教は、民間信仰とともに異端邪説として社会の辺境に押しやられ、朱子学を奉じる知識人たちからは蔑視された。日本の江戸時代との根本的相違はここにある。

 元来、格物窮理を信条とする朱子学は広い意味での科学精神ももっていた。

ただ、朱子学は近代西洋の科学を特徴づける実験重視の精神を欠いており、知識整理の仕方は精緻で体系的ではあったが、同時に極めて観念的だった。中国でもそうだが、朝鮮でも朱子学者のなかから実用的な自然科学的学問に取り組む人物が輩出する。そして、これは日本についてもいえることである。多くの蘭学者は朱子学的素養のうえに立ち、格物窮理のために西洋の知識体系を学んだのである。東アジアの伝統思想はすべて遅れたものだとみなす単純な近代化論は、歴史の事実に反する。

 しかし、朝鮮の場合は、前述した党争もあって、朱子学が観念的・思弁的に解釈される傾向が主流を占めた。西洋や「文明開化」路線の日本との出会いは、いつときの日本以上に過剰な鎖国的反応をもたらした。「衛正斥邪（えいせいせきじゃ）」と呼ばれる朝鮮版攘夷運動は、かえって日本の侵略をよりいっそう助長していく。「迷妄な朝鮮を開化させるため」という名目のもとに。

 ただし、朝鮮王国においてほど、朱子学の礼が社会に深く根づいた社会はなかった。本家中国でさえも、そうならなかった。明では民間の習俗を改変しきれず、そのジレンマが陽明学や三教一致運動を生んでいたし、清は社会の開化には成功したが、儒教が古來說いてきた札制とは完全に矛盾する風俗を権力がしいていた。辮髪（べんぱつ）である。古来の札制が想定する男子の髪型はなじまない。冠礼はこの政治的事情によって有名無実と化した。

 これにたいして、朝鮮は朱子学の優等生だった。明が亡んでからは、辮髪する清を北狄（ほくてき）として内心で軽蔑し、中華の正統文化は自分のところが保存していると自負してその維持に努めた。

 日清戦争後に清の朝貢国であることをやめると、それまでの「朝鮮国王」は晴れて「大韓帝国皇帝」として、日本に併合されるまでのわずか十数年間であったがソウルで郊祀（こうし）を執りおこなった。「日帝」のもとでは、南蛮西戎（なんばんせいじゅう）化したこの東夷による屈辱的支配に抵抗する原理として、朱子学が奉じられつづけた。現在も残る韓国・朝鮮社会の伝統的心性構造や慣習・倫理は、朝鮮王国時代につちかわれ、日本統治への反発という近代ナショナリズムによって再生されてきたものである。

 （小島毅『東アジアの儒教と礼』山川出版社 2004 pp.72～73+76）

</H 4></BODY>

最後に、電子教科書の本文の下欄には、本文に関わる基本的な発問が3つ掲載されている。これらは三択式であるが、答えは、必ずしも1つとは限らない。

```

「<HTML>
<HEAD>
<TITLE></TITLE>
</HEAD>
<STYLE type="text/css">
<!--
BODY{background-color : #E0FFFF}
H4{back-ground-color : #FFFFFF}
-->
</STYLE>
<BODY>
<BR><H4>(1～3の答えを予想してノートに書き入ってからクリックしてください。答えが出てきます。)
<BR><A href="kgeSA_0001.html">Q1. 儒教を始めた人物は誰ですか？ A 老子
B 荘子 C 孔子
<BR>Q2. 韓国の紙幣に新しく加わった50000ウォン札は日本円にするとおおよそいくらかでしょうか？ A 50000円 B 5000円 C 500円
<BR>Q3. 申師任堂はどのような分野で活躍した女性だったのでしょうか？ A
絵画 B 福祉 C 政治
</A></H4></BODY>
</HTML>」

```

2-5. データ設計のポイント

2-5-1. 全体的なデータ設計

この教材ソフト『韓国の社会－宗教と日常生活』は、全体として、1) 高等学校地理歴史科／公民科の学習のまとめとして主題学習的に使用する、2) 高等学校地理歴史科／公民科を一通り学んだか、現に学びつつある生徒の中で発展的な学習を希望する生徒に自学自習、または調べ学習の課題のひとつとして提供する、4) 高等学校地理歴史科／公民科の教員が各自の指導計画を立てる以前の教材研究の一環として視聴し各自の授業構成の参考に供しそのうえでこの全部または一部を授業で使用する、といったさまざまな位置付けが可能である。

この教材ソフト『韓国の社会－宗教と日常生活』は、また、同種の教材を自作しようとする教師にとっては、これを参考に他の国または地域について類似した教材を、コンピュータに基づき、あるいは、コンピュータに基づかないで作成する事例を提供する。

また、電子教科書単元ソフト『韓国の社会－宗教と日常生活』は、この論文では「アクティビティ・マニュアル Activity Manual Q&A『韓国の社会－宗教と日常生活』」としてその内容構成を示している。電子教科書の内容とこの「アクティビティ・マニュアル」は完全に対応している。この教材を元にはほぼそれに即した授業展開が可能である。もちろん、部分的に利用して行う授業、さらに発展・拡大した授業なども可能である。

2-5-2. 各ページの教材設計

この電子教科書単元ソフト『韓国の社会－宗教と日常生活』では、緑色系の背景にした中央左欄「本文」は学習内容を概観し概括し、基本的な事実に知識や用語を提供する。赤紫色を背景にした中央右欄「キーワード」は、文献資料や画像など関連した学習材とリンクされている。これらの学習材を使用する時には「アクティビティ・マニュアル」が活用されることになる。

3. 電子教科書単元『韓国の社会－宗教と日常生活』の具体的な教材設計

3-1. 『韓国の社会－宗教と日常生活』の基本的な構想

1) 第1に、『韓国の社会－宗教と日常生活』の学習は、一見、「ローカルな」韓国の問題や課題を取り上げているように見えるが、韓国の問題や課題は歴史、地理、政治、経済、社会、文化などいずれを視点として取り上げても、それらは「グローバルな」問題や課題と相互に関連し、相互に依存しており不可分なものとしてあるのだという、「グローバルな」見方・考え方を生徒たちに獲得させるものとして構想した。

2) 第2に、他国（外国）でありかつ地方色が豊かな韓国とそこに生きる人々は、差異をもっているが同時に共通点や類似性ももっていることを生徒たちに発見させようとしている。このため、かつての研究や学習でとられていた領域別かつ網羅的な構成をとらず、重点化、焦点化をはかった。すなわち、韓国の「社会」「文化」「歴史」「政治・外交」の分野をわけ、本論文では、そのうちの「社会」のうちの半分を占める「宗教と日常生活」を開発し公表することにした。これにつづけて「国民性・家族・教育」を開発しつつあり、いずれ報告したいと考えている。

4. 電子教科書単元ソフト『韓国の社会－宗教と日常生活』開発のねらい

4-1. 内容面と方法面のねらい

『韓国の社会－宗教と日常生活』のねらいは大きくわけて内容面と方法面とに分けられる。

内容面のねらいは、以下の2点である。

- 1) 社会系教科本来の総合的性格をもった教材開発を行うことである。
- 2) 高等学校の地理歴史科／公民科あるいは総合的な学習にあった、グローバルな問題や課題を考える機会を与えることである。

方法面のねらいは、以下の3点である。

- 1) OS を問わない教材ソフトを開発することである。HTML で作成した教材ソフトは MacOS でも WindowsOS でも使用可能で、汎用性がある。
- 2) 電子教科書の普及が喧伝される昨今、与えられる教材ソフトだけでなく作り出す教材ソフトのモデルが必要である。
- 3) 生徒にも教師にも操作性の点で、簡便であり、すぐに学習に活用できることや、教師であれば、そのままスクリプトをコピー&ペーストとして教材ができてしまう簡便さを追求する。

4-2. 到達目標（個別的知識から導かれる概括的知識）

韓国の宗教や日常生活には、韓国に固有なものもあるが、より普遍的なものもある。

韓国の宗教や日常生活には、外来のものが、韓国の実情に合わせて、変換され、韓国に根付いていることがある。

5. メディアシンフォニック電子教科書とアクティビティ・マニュアルを併用した単元『韓国の社会－宗教と日常生活』の学習

5-1. メディアシンフォニック電子教科書とアクティビティ・マニュアルを併用した『韓国の社会－宗教と日常生活』の単元の全体構成

『韓国の社会－宗教と日常生活』の単元の全体は以下の通りであり、全部で6ページから構成されている。

- (1) 韓国の社会-1. 宗教 A. 儒教
- (2) 韓国の社会-1. 宗教 B. 仏教
- (3) 韓国の社会-1. 宗教 C. キリスト教
- (4) 韓国の社会-1. 宗教 D. 民間信仰
- (5) 韓国の社会-2. 慣習・日常生活 A. 人々の一年
- (6) 韓国の社会-2. 慣習・日常生活 B. 人々の一生

5-2. (1) 韓国の社会 1. 宗教 A. 儒教

「(1) 韓国の社会 1. 宗教 A. 儒教」は以下の通り構成されている。そのテキスト本文、本文に関する3つの基本的発問、そして重要な用語と関連資料は電子教科書とし

て提供される。これに対して「本文に関する発問」、重要な用語と関連資料及びその理解を助ける「資料に関する発問」とは、テキスト形式のマニュアルである「アクティビティ・マニュアル Activity Manual Q&A『韓国の社会－宗教と日常生活』』として別途提供される。以下、本論文では、読者の理解の便宜のため、これら2つを「アクティビティ・マニュアル Activity Manual Q&A『韓国の社会－宗教と日常生活』』も一体化した図表として以下示すことにしたい。

<p>(1) 韓国の社会 1. 宗教 A. 儒教 (本文) 韓国は多宗教社会です。朝鮮半島の宗教として、なんとといっても、挙げなければならぬのは儒教(じゅきょう)です。韓国の人々の信仰についての調査では数字としては儒教は挙がってきません。しかし、他の宗教を信仰する人々を含め、韓国の社会を根底において支えているのが儒教です。現在の韓国が世界一の儒教大国である証拠として韓国の現行の紙幣の図柄となっている人物たちのことを指摘することができます。その韓国紙幣の中でももっとも新しく加わったのは50,000ウォン札です。これには他の紙幣とちがって女性が描かれています。この人物申師任堂(シンサイムダン)もじつは儒教と深い関係のある人物です。日常生活から、学問、政治あらゆる面で長い歴史を通じて朝鮮半島の国家・社会を秩序づけてきたのが儒教、とくに、朱子学(しゅしがく)なのです。特に、両班(リャンバン)とよばれた科挙(かきょ)を通った高級官僚やその縁者、在野の学者、そして王侯貴族によって支持され続けてきました。現在の韓国の人々の40%以上の人々が自分たちは両班の子孫であると思っていることもあって、現在でも、有力な思想を提供しているといえます。</p>		
発問	資料	応答
<p>[本文に関する3択問題]</p> <p>CQ1) 儒教を始めた人物は誰ですか? A 老子 B 莊子 C 孔子</p> <p>CQ2) 韓国の紙幣に新しく加わった50000ウォン札は日本円にするとおおよそいくらでしょうか? A 50000円 B 5000円 C 500円</p> <p>CQ3) 申師任堂はどのような分野で活躍した女性だったのでしょうか? A 絵画 B 福祉 C 政治</p> <p>[本文に関する発問]</p> <p>TQ1) 儒教は日本では道徳として受け止められることもあります。宗教とされるのはなぜですか?</p> <p>TQ2) 朱子学は日本でも江戸時代に幕府の公認を受け、江戸時代が260年続くのに貢献しました。それは朱子学のどんな考え方が合ったのでしょうか?</p> <p>TQ3) TQ2) にもかわかわらず、朝鮮と日本では「科挙」の有無が大きな違いをそれぞれの社会にもたらしたと言われます。それはなぜでしょうか?</p>	<p>なし</p> <p>本文</p>	<p>CA1) (正解は下線) A 老子 B 莊子 <u>C 孔子</u></p> <p>CA2) A 50000円 <u>B 5000円</u> C 500円</p> <p>CA3) <u>A 絵画</u> B 福祉 C 政治</p> <p>TA1) 天(神)を祀るからです。また、祖先の祭祀を行うからです。</p> <p>TA2) 君臣の別、長幼の序など、一旦確立された社会を維持するのに役立ったからです。</p> <p>TA3) 朝鮮の支配階級は文官であり、「科挙」という試験に通った平民は政治の中心に参画できた。これに対して、日本の支配階級は武官(武士)であり、基本的にはその身分は江戸の初めに「士農工商」の</p>

<p>[資料に関する発問]</p> <p>RQ 1) 多宗教社会韓国について考えて見ましょう！</p> <p>SQ 1-1) 韓国では男女どちらの方が信仰を持っていますか？</p> <p>SQ 1-2) 日本であれば1つの宗教とされているものが、韓国では統計上別々に集計されています。それはなんという宗教でしょうか？</p> <p>SQ 1-3) この資料から韓国の宗教として統計的に一番多いのは何ですか？</p> <p>SQ 1-4) それではなぜ韓国は儒教大国とされているのでしょうか？</p>		<p>「士」として支配階級に位置付けられ原則的に世襲されたから。</p> <p>資 1 RA 1)</p> <p>A 1-1) 女性の方が信仰を持っています。</p> <p>A 1-2) キリスト教です。韓国ではプロテスタントとカトリックとは別の宗教として扱われています。</p> <p>A 1-3) キリスト教です。</p> <p>A 1-4) 日常的な祖先の祭祀, 年間行事, 礼儀作法, 言葉遣いなど韓国の人たちの生活には儒教の考え方が意識されないほど入り込んでいるからです。</p>
<p>RQ 2) ここでは韓国の儒教について考えてみましょう！</p> <p>SQ 2-1) 儒教の基本的な教義である5つの徳目のことを何と言いますか？</p> <p>SQ 2-2) その五倫とはどのようなことを指すのですか？</p> <p>SQ 2-3) その五倫とともに儒教で大事にされる五常（五徳）とはどのようなことを指すのですか？</p> <p>SQ 2-4) 朝鮮半島に朱子学が伝わったのはいつ頃ですか？</p> <p>SQ 2-5) 1392年朝鮮王朝を建てた李成桂とともに革命を起こした官僚たちの態度はどう表現されていますか？</p>	<p>資 2 RA 2)</p> <p>A 2-1) 儒教の5つの徳目は五倫と呼ばれています。</p> <p>A 2-2) 五倫とは、父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信といった徳目です。</p> <p>A 2-3) 五常（五徳）とは仁義礼智信といった徳目です。</p> <p>A 2-4) 朱子学は13世紀に伝わりました。</p> <p>A 2-5) 官僚たちは崇儒排仏とされ、儒教を重んじ、仏教を排斥しようとしてしました。</p>	
<p>RQ 3) 韓国の紙幣にはどのような人物が描かれているのでしょうか？</p> <p>SQ 3-1) 韓国の紙幣に描かれている人物は誰ですか、整理するとどうなりますか？</p> <p>SQ 3-2) SQ 3-1) のうち、朱子学の大家は誰ですか？</p> <p>SQ 3-3) 申師任堂（シムサイムダン）は李栗谷（イユルゴク）の母親だが、儒教のどんな価値を体現したとされているのか？</p> <p>SQ 3-4) 世宗（セソン）は儒教とどう関わっているのですか？</p>	<p>資 3 RA 3)</p> <p>A 3-1)</p> <p>1000 ウォン 李退溪（イテゲ）</p> <p>5000 ウォン 李栗谷（イユルゴク）</p> <p>10000 ウォン 世宗（セソン）</p> <p>50000 ウォン 申師任堂（シムサイムダン）</p> <p>A 3-2) 李退溪（イテゲ）と李栗谷（イユルゴク）です。</p> <p>A 3-3) 良妻賢母です。</p> <p>A 3-4) 世宗（セソン）は儒教に基づいた政治を行ないました。</p>	

<p>RQ 4) 申師任堂（シムサイムダン）について調べてみましょう！</p> <p>SQ 4-1) 李栗谷（イウルゴク）の生家でありその母申師任堂（シムサイムダン）の生家は何と呼ばれていますか？</p> <p>SQ 4-2) なぜその家は烏竹軒（オジュコン）と呼ばれたのですか？</p> <p>SQ 4-3) 申師任堂（シムサイムダン）は韓国最初の女性芸術家とされていますが、どんな分野で活躍したのですか？</p> <p>SQ 4-4) 5000 ウォン札の裏のデザインの元になった申師任堂（シムサイムダン）の作品は何を描いたものだったのでしょうか？</p>	資 4	<p>RA 4)</p> <p>A 4-1) 烏竹軒（オジュコン）と呼ばれています。</p> <p>A 4-2) 家の周りに烏竹（黒竹）が多く生えていたからです。</p> <p>A 4-3) 申師任堂（シムサイムダン）は絵画の世界で活躍しました。</p> <p>A 4-4) 申師任堂（シムサイムダン）の作品は草や虫を描いたものでした。</p>
--	-----	--

資料 1 多宗教社会（石坂浩一・福島みのり）『現代韓国を知るための 60 章 第 2 版』明石書店 2014 p.284)

資料 2 韓国の儒教（高月靖『徹底比較日本 VS. 韓国』河出書房新社 2008 p.74)

資料 3 韓国の紙幣（高月靖『徹底比較日本 VS. 韓国』河出書房新社 2008 p.73）+ [画像] 5000 ウォン札（李栗谷の肖像）

資料 4 申師任堂とその家李栗谷の生家 = 申師任堂（シンサイムダン）の生家 = 烏竹軒 [オジュコン]（江原道江陵市竹軒洞 201）金容雲監修／中山義幸・平井敏晴『韓国歴史散歩』2009, p.227 + [画像] 50000 ウォン札（申師任堂の肖像）

資料 5 朱子学（小島毅『東アジアの儒教と礼』山川出版社 2004 pp.72～73 + 76)

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

- * 韓国は多宗教社会である。
- * 韓国の社会を根底において支えているのは儒教である。
- * あらゆる面で長い歴史を通じて朝鮮半島の国家・社会を秩序づけてきたのが儒教，とくに，朱子学（しゅしがく）である。
- * 儒教は両班（リャンパン）とよばれた科挙（かきょ）を通った高級官僚やその縁者，在野の学者，そして王侯貴族によって支持され続けてきた。
- * 韓国では，葬儀や先祖の祭祀は儒教に基づいて行われている。

5-3. (2) 韓国の社会 1. 宗教 B. 仏教

「(2) 韓国の社会 1. 宗教 B. 仏教」は以下の通り構成されている。

(2) 韓国の社会 1. 宗教 B. 仏教

(本文) 朝鮮半島の宗教として，つぎに挙げることができるのは仏教です。日本と違うのは，釈迦誕生日が国民の祝日とされていることです。古代の三韓時代をへて統一新羅時代には，仏教の大衆化がはかられました。のち，禅宗九山とよばれる寺院が建てられました。高麗で版木

がつくられて出版されたお経は、日本の為政者や仏教徒にとって、貿易を通じて入手したい貴重な書籍でした。その後、この版本が戦火で焼けたのちも復刻がなされ、現在では世界遺産となっているほどです。しかし、仏教と儒教とでは相容れない考え方もあり、朝鮮王朝の王によっては仏教を激しく弾圧するものもでてきました。今日、朝鮮半島の主要な寺院は山懐にいだかれた都市から離れた地に存続していますが、そうした、現実のなせるものです。僧侶たちは賤民あつかいされ、都市域への立ち入りも禁じられたのです。もっとも、韓国等の調査によれば、数の上では仏教徒が一番多いとされています。

発問	資料	応答
<p>[本文に関する3択問題]</p> <p>CQ1) 韓国では国民の祝日に宗教に関係のある日が入っていますが、釈迦誕生日以外には祝日とされているのはどの日でしょうか？ A キリストの誕生日 B 孔子の誕生日 C それ以外にはない</p> <p>CQ2) 朝鮮半島で翻刻され日本でも渴望されたお経は何というものでしょうか？ A 華嚴経 B 大蔵経 C 法華経</p> <p>CQ3) 韓国の寺院では日本の寺院ではよく行われることがありません、それは何でしょうか？ A 読経 B 鐘撞(かねつき) C 葬儀</p>	なし	<p>CA1) A <u>キリストの誕生日</u> B 孔子の誕生日 C それ以外にはない</p> <p>CA2) A 華嚴経 B <u>大蔵経</u> C 法華経</p> <p>CA3) A 読経 B 鐘撞(かねつき) C <u>葬儀</u></p>
<p>[本文に関する発問]</p> <p>TQ1) 釈迦の誕生日は日本の寺院でも祝われ、参拝者には飲み物が振舞われるが、その飲み物とは何か？</p> <p>TQ2) 高麗で版木が造られた大蔵経(だいぞうきょう)は、その版木自体が戦火に焼かれましたが、のちに復刻がなされています。世界遺産となった大蔵経を現在も所蔵している寺院は何という寺院ですか？</p> <p>TQ3) 儒教が中心となると、僧侶は賤民扱いされました。また、寺院は都市の中から移転を余儀なくされましたが、どこへ移ったのですか？</p>	本文	<p>TA1) 毎年4月8日に行われる釈迦の誕生を祝う「灌仏会(かんぶつえ)」では、仏像に甘茶をかけ、また参拝者はそれをもらって飲みます。</p> <p>TA2) 海印寺(ヘインサ)です。海印寺は新羅時代の僧侶義湘が802年、伽耶山山中に建立したとされています。「海印」と言うのは三度たたくは願う品物が出る竜王の印を意味しています。</p> <p>TA3) 朝鮮では寺院は都市から山中へと移転させられ、僧侶は都市の中に入ることを禁じられました。</p>
<p>[資料に関する発問]</p> <p>RQ1) ここでは「興儒廢仏」について考察してみましょう！</p> <p>SQ1-1) 4世紀に朝鮮半島に伝わった仏教が隆盛を極めたのはいつ頃でしたか？</p> <p>SQ1-2) その時代の仏教はどんなことを期待されていたのですか？</p> <p>SQ1-3) 李朝では仏教はどのように扱われましたか？</p> <p>SQ1-4) そのような中、都市の中で生き延び、現在では韓国仏教の中心となっている</p>	資1	<p>RA1)</p> <p>A1-1) 仏教が隆盛を極めたのは三国時代でした。</p> <p>A1-2) 仏教は鎮護国家を期待されていました。</p> <p>A1-3) 李朝では仏教は弾圧されました。これを「興儒廢仏」と言います。</p> <p>A1-4) 現在韓国仏教の中心となっている寺院は曹溪寺です。</p>

<p>寺院は何と言いますか？</p> <p>SQ 1-5) 現在, 韓国の仏教にはどんな宗派がありますか？</p> <p>SQ 1-6) 韓国の仏像が金色に輝いているのはなぜだと思いますか？</p> <p>RQ 2) 大蔵経を知ろう！</p> <p>SQ 2-1) 大蔵経がつくられた元々の目的は何だったのだろうか？</p> <p>SQ 2-2) 大蔵経の初版が焼失してしまった1232年に起こった出来事は何でしたか？</p> <p>SQ 2-3) 海印寺の大蔵経が世界遺産に選ばれた理由は何だったのでしょうか？</p> <p>SQ 2-4) 現在残されている大蔵経は一体どこでつくられたのでしょうか？</p> <p>SQ 2-5) この大蔵経作成の総責任者は誰だったのですか？</p> <p>SQ 2-6) 大蔵経の作成を経済的に支えたのは誰だったのですか？</p> <p>SQ 2-7) この大蔵経を保存している大蔵経板殿も世界遺産とされましたが, この建物の特徴は何ですか？</p> <p>RQ 3) 韓国寺院と日本寺院との違いを見てみましょう！</p> <p>SQ 3-1) 韓国人々はそれぞれの信仰している宗教によってお葬式をしますか？</p> <p>SQ 3-2) それではどんなお葬式をするのでしょうか？</p> <p>SQ 3-3) 韓国人々にとって仏教の寺院のイメージを尋ねたらどのようなものだと答えると思いますか？</p>	<p>資 2</p> <p>資 3</p>	<p>A 1-5) 現在韓国仏教は基本的には曹溪宗のみです。曹溪宗は全国を25の教区に分けて支配しています。</p> <p>A 1-6) 韓国の仏像が金色なのは永遠の命を表しています。また, 日本では仏像=芸術, 韓国では仏像=信仰の対象, と考えています。</p> <p>RA 2)</p> <p>A 2-1) 大蔵経がつくられた元々の目的は契丹(きったん)の侵略を退けることでした。</p> <p>A 2-2) 蒙古軍の侵攻でした。</p> <p>A 2-3) 海印寺の大蔵経は, その規模が膨大な上に, 世界のどの大蔵経よりも正確であるからです。</p> <p>A 2-4) 現在残されている大蔵経は江華島でつくられました。</p> <p>A 2-5) 大蔵経作成の総責任者は開泰寺(ケテサ)の守其(スキ)という華嚴宗の僧侶でした。</p> <p>A 2-6) 大蔵経の作成を経済的に支えたのは崔(チェ)氏でした。</p> <p>A 2-7) 大蔵経板殿は, 風通しや湿気をとる工夫がされています。</p> <p>RA 3)</p> <p>A 3-1) 韓国人々はそれぞれの信仰している宗教によってお葬式をしません。</p> <p>A 3-2) 生前故人が信仰していた宗教にかかわらず儒教式のお葬式を行うことがほとんどです。</p> <p>A 3-3) 日本のお葬式をする場所ではなく, 山の中で僧侶が修行に励む場所をイメージします。</p>
---	-----------------------	--

資料1 興儒廃仏(桑野淳一『韓国古寺紀行 日本仏教の源流を訪ねて』彩流社 2001 pp.25-26+27-29)

資料2 大蔵経(金炯佑 仏教文化財 賈鐘壽編訳『韓国伝統文化論』大学教育出版 2008 pp.83-85)

資料3 韓国寺院と日本寺院との違い(桑野淳一『韓国古寺紀行 日本仏教の源流を訪ねて』彩流社 2001 pp.37-38)

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

- * 韓国では釈迦誕生日が国民の祝日とされている。
- * 高麗版大蔵経の版木は世界遺産となっている。
- * 朝鮮時代, 仏教は弾圧され, 主要な寺院は山間部に移った。
- * 現在の調査では, 韓国では数の上では仏教徒が一番多いとされている。
- * 韓国では, 仏教寺院は葬式を行わない。

5-4. (3) 韓国の社会 1. 宗教 C. キリスト教

「(3) 韓国の社会 1. 宗教 C. キリスト教」は以下の通り構成されている。

<p>(3) 韓国の社会 1. 宗教 C. キリスト教 (本文) 韓国の宗教として, 第3に挙げることができるのはキリスト教です。実は, 韓国のキリスト教の信者の数は全体では仏教の信者よりも多いのです。しかし, 韓国では, 新教と旧教とは別の宗教として扱われているのです。韓国の都市の夜景でたいへん目立つものがあります。外国人たちがとても不思議に思うほどの韓国のネオンの赤い十字架です。それほど, ひとびとの集まる場所にはキリスト教会があります。もっとも, 朝鮮半島にキリスト教がたえられたのは, 18世紀のことでした。しかも, はじめのころは何度も弾圧を受けました。近代になって布教だけでなく, 学校や病院といった民衆のための施設の建設をつうじて, 少しずつ韓国社会にうけいれられていきました。しかし, 日本の植民地支配下では, 神社がたてられ, 神道が強制されたこともあってそれほど教宣はいきわたりませんでした。このため, キリスト教徒が爆発的に増えたのは第二次世界大戦後のことでした。特に, 韓国のキリスト教では現世利益が重視され, それをかなえてくれるものとしてうけとめられました。この結果, 韓国では, ヨイド福音教会をはじめ大型教会という世界にも類をみない信者数をほこる教会がいくつもあります。</p>		
発問	資料	応答
<p>[本文に関する3択問題]</p> <p>CQ1) 韓国で赤いネオンの十字架を立てる競争がはじまったのは1980年代のことでした, キリスト教が国教である国でも見られぬこの現象はなぜだと思いますか? A 赤はキリストの血を象徴する色だから B 赤は高貴な色とされるから C 夜空に一番目立つ色だから</p> <p>CQ2) 韓国で, 当初は, 弾圧も受けたキリスト教が普及していくのに貢献した社会事業にはどのようなものがあったと思いますか A 学校をつくる B 病院をつくる C ハングルでの聖書の出版をする</p> <p>CQ3) 世界の50の大型教会=メガチャーチ(信者数1万人以上)のうち韓国にはどのくらいの数の教会があると思いますか? A 7 B 25 C 41</p>	<p>なし</p>	<p>CA1) A 赤はキリストの血を象徴する色だから B 赤は高貴な色とされるから <u>C 夜空に一番目立つ色だから</u></p> <p>CA2) <u>A 学校をつくる B 病院をつくる</u> <u>C ハングルでの聖書の出版をする</u></p> <p>CA3) A 7 B 25 <u>C 41</u></p>

<p>[本文に関する発問]</p> <p>TQ 1) 韓国では、新教と旧教とでは別の宗教として扱われているが、なぜか？</p> <p>TQ 2) キリスト教の宣教師がつくった学校で現在韓国の有名大学となっているのは何大か？</p> <p>TQ 3) 延世大学校だが、その医学部の元になったのは何だったのですか？</p> <p>TQ 4) 朝鮮戦争当時、この大学構内でも戦闘が行われた痕が証拠として残されていますが、それはどこにあるのでしょうか？</p> <p>TQ 5) 朝鮮戦争当時、この大学の建物もある目的で使用されたそうですが、その利用目的は何ですか？</p>	本文	<p>TA 1) 新教と旧教とでは韓国への伝わり方が異なっていたからです。新教は外国人宣教師によって、旧教は韓国人宣教師によって伝えられました。</p> <p>TA 2) 延世大学校です。</p> <p>TA 3) 1885年アメリカの長老派教会から派遣された宣教師であるホレイス・ニュートン・アレン博士によって設立された朝鮮初の西洋式の王立病院です。</p> <p>TA 4) 延世大学校の創立者アレン博士の銅像の台座に今でも銃弾の痕が残っています。</p> <p>TA 5) 延世大学校の建物は、北朝鮮軍の司令部として使われました。</p>
<p>[資料に関する発問]</p> <p>RQ 1) 韓国にキリスト教徒が多いのはどうしてなのでしょう？</p> <p>SQ 1-1) 韓国は「アジア有数のプロテスタント国家」と言われることがあるが、アジアで何番目か？</p> <p>SQ 1-2) 韓国の教会は数が多いだけでなく、その規模も大きい。資料からわかることを、かっこに入れてみよう。「世界 10 大教会のうち (ア) 教会が韓国にある。世界 50 大教会のうち (イ) 教会が韓国にある。」</p> <p>SQ 1-3) 韓国のプロテスタントの普及は何と関係があると指摘されていますか？ (ウ) と (エ) がそうです。</p> <p>SQ 1-4) ローマ法皇は韓国に 1989 年以来 3 度も訪問しています。韓国のカトリックの信徒は何人くらいいるのですか？</p> <p>SQ 1-5) 韓国にキリスト教徒 (カトリック) が多い理由をこの資料は何だとしていますか？</p> <p>SQ 1-6) 資料の著者は、SQ 1-5) が韓国の人々のある性格と表裏の関係にあると指摘していますがそれは何ですか？</p> <p>SQ 1-7) 韓国の宣教師が世界で引き起こしているのはどんな問題なのですか？</p>	資 1	<p>RA 1)</p> <p>A 1-1) フィリピン、東チモールに続いてアジアで 3 番目に信徒が多いのです。</p> <p>A 1-2) 「世界 10 大教会のうち (7) 教会が韓国にある。世界 50 大教会のうち (41) 教会が韓国にある。」</p> <p>A 1-3) 韓国のプロテスタントの普及は (近代化) と (都市化) に関係があるとされています。</p> <p>A 1-4) 韓国のカトリックの信徒は 500 万人くらいいます。</p> <p>A 1-5) 韓国にキリスト教徒 (カトリック) が多い理由は「純粋さ」であるとしています。</p> <p>A 1-6) 韓国の人々が「思い込み」やすいことと関係があるとしています。</p> <p>A 1-7) 韓国の宣教師が世界で引き起こしているのは、異教徒の国家に宣教師を派遣し、軋轢を起し、時には殺害の対象になっていることがあります。</p>
<p>RQ 2) 韓国でのキリスト教の布教には殉</p>	資 2	<p>RA 2)</p>

教者が多かったのはどうしてですか？

Q 2-1) 韓国ではキリスト教は何と呼ばれていますか？

Q 2-2) 18 世紀朝鮮半島で行われたキリスト教の布教は誰が行っていましたか？

Q 2-3) 朝鮮半島へ入ったキリスト教が弾圧されたのは、キリスト教のどんな考え方が問題とされたのですか？

Q 2-4) 日本の植民地期には天主教はどんな対応を取ったのですか？

Q 2-5) 抗日運動に参加した天主教徒で、伊藤博文を暗殺したのは誰ですか？

Q 2-6) 改新教の布教は何世紀ごろから行われたのですか？

Q 2-7) 改新教がアメリカ人宣教師によって朝鮮半島に伝道されるに際して、力を入れたことは何でしたか？

Q 2-8) 1919 年の三・一独立運動では、改新教の積極的な姿勢が見られましたが、それはどんなことにみられましたか？

Q 2-9) 朝鮮戦争後、韓国のキリスト教はどうなりましたか？

RQ 3) 新教と韓国の近代化とはどんな関係があるのでしょうか、新教についてみていきましょう！

Q 3-1) 朝鮮で、初期の新教の教会が重点的に取り組んだことは何だったのですか？

Q 3-2) 新教の医療宣教の中で、アメリカ人セブランスによって、立て直しが図られた医院は、のちに発展したが、現在の何にあたりますか？

Q 3-3) 1887 年に朝鮮に来たメタ・ハワードによってつくられた「保救女館」とはどのような施設だったのでしょうか？

Q 3-4) 1886 年マリー・スグラントンが創設した「女学堂」は現在なんと教育機関になっていますか？

Q 3-5) Q 3-2) の医院とともに、現在の延世大学校のもととなった 1915 年に作られた高等教育機関は何でしたか？

Q 3-6) 新教の教会など、キリスト教会が今日の朝鮮半島に大きな影響を与えた言語

A 2-1) カトリックは天主教、プロテスタントは改新教または基督教と呼ばれ、統計でも別の宗教扱いです。

A 2-2) キリスト教の布教は洗礼を受けた朝鮮人、ついで中国人が行っていました。

A 2-3) キリスト教の祖先祭祀否定が問題だとされました。

A 2-4) 天主教の信者たちは個人が抗日運動に参加しました。

A 2-5) 伊藤博文を暗殺したのは安重根（アンジュゲン）です。

A 2-6) 改新教の布教は 19 世紀ごろから行われました。

A 2-7) 改新教が力を入れたことは医療や教育でした。

A 2-8) 改新教の積極的な姿勢は、三・一独立宣言に 16 名の改新教指導者が名を連ねていたことにみられました。

A 2-9) 天主教では、休戦時の 16 万人か 1962 年には 53 万人に増えました。改新教は同年に 862 万になり、韓国の人口の 18 % も占めるようになりました。

資 3 RA 3)

A 3-1) 重点的に取り組んだことは聖書の翻訳とその刊行でした。

A 3-2) 現在の延世大学校とその付属病院です。

A 3-3) 「保救女館」とは朝鮮で初めての女性専用病院でした。

A 3-4) 「女学堂」は現在梨花女子大学校となっています。

A 3-5) 1915 年に作られた高等教育機関は延禧（ヨンヒ）専門学校でした。

A 3-6) キリスト教会がとった言語政策とはハングルを用いたことです。

<p>方策は何ですか？</p> <p>RQ 4) 韓国で別のカテゴリーとされる新教と旧教ですが、その旧教について見ていきましょう！</p> <p>Q 4-1) 韓国に天主教（カトリック）が伝わったのはいつのことでしたか？</p> <p>Q 4-2) 韓国に天主教（カトリック）を伝えたのはだれですか？</p> <p>Q 4-3) 韓国の天主教（カトリック）の成り立ちには、世界のキリスト教史上類例がないと言いますが、それはどのような点なのですか？</p> <p>Q 4-4) 韓国の天主教（カトリック）教徒たちはどうやってカトリックの教義を学んだのですか？</p> <p>Q 4-5) 1984年の韓国の天主教（カトリック）200周年では、韓国の地で殉教者を聖人に列する式を行なったが103名中何人が韓国人であったか？</p> <p>Q 4-6) 日本ではカトリックの布教は朝鮮より235年早かった。では、日本の殉教者は何人が聖人とされていますか？</p> <p>Q 4-7) この資料の著者によれば、韓国に何をもたらしたと言っていますか？</p>	<p>資 4</p>	<p>RA 4)</p> <p>A 4-1) 韓国に天主教（カトリック）が伝わったのは1785年のことでした。</p> <p>A 4-2) 韓国に天主教（カトリック）を伝えたのは李承薫（イスンフン）です。</p> <p>A 4-3) 異教徒が自発的に天主教（カトリック）に入信したことと入信者が自発的に天主教（カトリック）を布教したことです。</p> <p>A 4-4) 韓国の天主教（カトリック）教徒たちは教理本を導入することでカトリックの教義を学びました。</p> <p>A 4-5) 103名中93名が韓国人でした。</p> <p>A 4-6) 日本の殉教者は26人が聖人とされているが、そのうち日本人は15名のみです。</p> <p>A 4-7) キリスト教は韓国に近代化をもたらしました。</p>
<p>RQ 5) 韓国の大型教会の秘密を探ろう！</p> <p>Q 5-1) 韓国の改新教（プロテスタント）の教会の大型化の原因として、その教会の性格が指摘されていますが、それは何ですか？</p> <p>Q 5-2) 大型教会は、1人の担当牧師以外、どのような人々によって運営されていますか？</p> <p>Q 5-3) 大型教会の日曜礼拝を行うのは、誰ですか？</p> <p>Q 5-4) 日曜礼拝を行わない副牧師など他の人々はどんな役割をしているのですか？</p> <p>Q 5-5) 大型教会が一度に収容できる信者の数はどのくらいですか？</p> <p>Q 5-6) 大型教会で信者を一度に収容できない場合はどうしているのですか？</p> <p>Q 5-7) 世界最大の教会は、韓国のどこに</p>	<p>資 5</p>	<p>RA 5)</p> <p>A 5-1) 韓国の改新教（プロテスタント）は、教派不問を前面に打ち出して大規模な宣伝を行なったからです。</p> <p>A 5-2) 大型教会は、1) 1人の担当牧師、2) 数10人～100人以上の副牧師、3) 1)の下に多数の隆道師や伝道師、4) 2)の下に（教会付属の神学校があれば）多数の神学生によって運営されています。</p> <p>A 5-3) 大型教会の日曜礼拝を行うのは、1) の担当牧師と2) のうち数名の副牧師です。</p> <p>A 5-4) 他の人々は、その教会の管轄地域を分担し、日常の司牧活動をしています。</p> <p>A 5-5) 一般的には5000人から6000人ですが、中には25000人収容できる教会もあります。</p> <p>A 5-6) そのような場合、大型教会では、同じ礼拝を1日に6回も繰り返して行なっています。</p> <p>A 5-7) ソウルの中心を流れる漢江（ハン</p>

<p>ある、何という教会ですか？</p> <p>Q 5-8) 汝牟島（ヨイド）教会に属する信者は何人くらいいると思いますか？</p> <p>Q 5-9) これら教会に、カリスマ的な聖職者が出現して信者を拡大したのはいつ頃のことか？</p> <p>Q 5-10) 数多くの信者たちはどこからやってくるのですか、また、それはどうしてですか？</p> <p>Q 5-11) 日本であれば、信者以外にも認めているが、韓国では信者にしか認めていないこととは何ですか？</p> <p>Q 5-12) 大型教会が果たしている社会的役割は何ですか、また、それは経済を例にすればどんなメリットをもたらしているのですか？</p> <p>RQ 6) 韓国の God は「ハヌニム」と呼ばれるが、そのことが生起させたことはどんなことか？</p> <p>Q 6-1) 資料によれば、韓国のカトリックは元々あった「天」思想に注目したとありますが、このため神様は何と呼ばれましたか？</p> <p>Q 6-2) 資料によれば、韓国のプロテスタントは神様を「ハナニム」と呼びました、「ハヌル（天）+ニム（様）」が元の言葉でしたが、転じて、「ハナニム」であるとされたそうですが、どのように意味が変化してしまったのでしょうか？</p> <p>Q 6-3) 1910年に作られた「黙示図」などの聖書解説書で、「ローマによるキリスト教への迫害」と同じ類のものとされたのはどんなことでしたか？</p> <p>Q 6-4) 戦前と戦後で、他の民族宗教に対する韓国のキリスト教徒の態度が変わったと言っていますが、それはどのように変わったのですか？</p>	<p>ガン)の中洲にある汝牟島（ヨイド）教会です。</p> <p>A 5-8) 汝牟島（ヨイド）教会に属する信者は75万人以上いるそうです。</p> <p>A 5-9) カリスマ的な聖職者が出現したのは1980年代のことでした。</p> <p>A 5-10) 数多くの信者たちはかなり遠方からでもやってきますが、それを可能にしたのは韓国が車社会となったからです。</p> <p>A 5-11) 韓国では信者にしか認めていないこととは教会での結婚式です。</p> <p>A 5-12) 大型教会は、一種のネットワークです、そこで、教会での関係がビジネスチャンスにつながることもあります。</p> <p>資 6 RA 6)</p> <p>A 6-1) 神様は「天主」と呼ばれました。</p> <p>A 6-2) 韓国語で「ハナ」は「一つ」を意味していますので、「ハナニム」で「唯一神」信仰を強調することになりました。</p> <p>A 6-3) 「ローマによるキリスト教への迫害」と同じ類のものとされたのは、日本による朝鮮半島侵略でした。</p> <p>A 6-4) 韓国のキリスト教徒は、戦前は反日で手を組んでいたが、戦後は他の民族宗教は悪魔を信じる邪教であると言い出しました。</p>
--	--

資料 1 韓国にはキリスト教徒が多い理由 (1) (金栄勲 (金順姫訳) 『韓国人の作法』集英社 2010 pp.190-191) 韓国にはキリスト教徒が多い理由 (2) (黒田勝弘 『韓国人の研究』KADOKAWA 2014 pp.241-243) 韓国にはキリスト教徒が多い理由 (3) (井沢元彦・呉善花 『困った隣人 韓国の急所』祥伝社 2013 pp.143-144)

資料 2 韓国へのキリスト教の布教と殉教 (小幡倫裕 韓半島のキリスト教 金両基編著 『韓国の歴史を知るための 66 章』明石書店 2007 pp.197-200)

資料 3 韓国の近代化に貢献したキリスト教 (プロテスタント) (浅見雅一・安廷苑 『韓国とキリスト教』中央公論新社 2012 pp.95-97)

資料 4 韓国では新教と旧教は別物 (金鎮炫 『日本人に本当に伝えたいこと 日・韓共同の家作

りを夢見て』論創社 2009 pp.152-154)

資料5 韓国の大型教会 (1) (浅見雅一・安廷苑『韓国とキリスト教』中央公論新社 2012 pp.19-21) 韓国の大型教会 (2) (浅見雅一・安廷苑『韓国とキリスト教』中央公論新社 2012 pp.4-7)

資料6 韓国の God は「ハヌニム」(シンシアラー『韓国人による黒韓史』扶桑社 2015 pp.90-92)

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

- * 韓国のキリスト教の信者の数は全体では仏教の信者の数よりも多い。しかし、新教と旧教とは別の宗教として扱われているので統計上は仏教より少ない。
- * 朝鮮半島へキリスト教が伝えられたのは18世紀のことで、何度も弾圧を受けた。
- * 韓国では、近代になって、布教だけでなく、学校や病院といった民衆のための施設の建設をつうじて、少しずつ韓国社会に受け入れられていった。
- * 韓国で、キリスト教徒が爆発的に増えたのは第二次世界大戦後のことであった。
- * 韓国のキリスト教では現世利益が重視されている。
- * 韓国では、大型教会という世界にも類をみない信者数をほこる教会がいくつもある。

5-5. (4) 韓国の社会 1. 宗教 D. 民間信仰

「(4) 韓国の社会 1. 宗教 D. 民間信仰」の構成は以下の通りである。

(4) 韓国の社会 1. 宗教 D. 民間信仰 (本文) 朝鮮半島では、上記のような教義の明確な宗教とならんで、民間信仰もおこなわれてきました。韓国で多くの人々が頼るのは、「風水」と「四柱八字 (サジュバルチャ)」と「巫女信仰」です。ここでは、巫女信仰を紹介しておきます。シャーマニズム的な伝統をひきつぐ巫堂ではムーダンが祭祀(クツ)をおこなってきました。祭祀では、踊りながら演じる巫歌や祈祷歌などの雑歌がうたわれました。それらの歌のなかの、支配権力者たちの理不尽な圧政に耐えていく庶民の悲憤・嘆きを表現したものが打令(タリョン)であり、自分の身の上を嘆く表現が身世打令(シンセタリョン)といわれるものです。 妖怪としてよく取り上げられるのはトッケビです。 地方では、たとえば、済州島では二対の石の像であるトラファルバンが信仰されてきました。トラファルバンは縁結びや出産の神様です。 また、幸運の象徴はテジ(豚)です。韓国の干支では最後はイノシシではなくテジなのです。		
(1) 韓国の社会 1. 宗教 D. 民間信仰 (本文)		
発問	資料	応答
[本文に関する3択問題] CQ1) 韓国の祭祀ではどんな楽器が使われるのでしょうか? A 太鼓 B 鉦 C ヒチリキ		CA1) <u>A 太鼓 B 鉦</u> C ヒチリキ

CQ2) 韓国の妖怪であるドッケビは不思議な現象が起こる場所の名前に使われていることがあります, それはどんな場所でしょうか?

A 墓地 B 河畔 C 道路

CQ3) 濟州島の神様であるトラファルバンはどのような姿をしていると思いますか?

A おばあさん B 赤ん坊 C おじいさん

[本文に関する発問]

TQ1) シャーマニズムとはどのような宗教なのでしょう?

TQ2) タリヨン (打令) とはどんなものなのでしょう?

TQ3) トッケビは, 今日韓国ではどんなものとして扱われていますか?

TQ4) 韓国では, 豚はなぜ幸運の象徴とされるのでしょうか?

[資料に関する発問]

RQ1) 韓国の家庭での信仰はどのようなものなのですか?

SQ1-1) 家庭の安全を祈る祭祀ですが, これが行われる時期からこの祭祀の起源を推定するとどうなりますか?

SQ1-2) 韓国では5代前の先祖まで祭祀を行うそうですが, それは儒教の徳目である何に基づいておこなわれているのですか?

SQ1-3) 韓国の家庭で祭壇に供える食物には, 普段の食事と大きく異なるところがありますが, それはどのようなことでしょうか?

SQ1-4) 日本で仏壇に供える食べ物と大きく違う点はどんなことでしょうか?

SQ1-5) 韓国の家庭では, こうした祭祀をどのくらいしてきたのですか?

SQ1-6) 韓国の家庭では, 大きな祭祀では何代前の祖先まで対象にするのですか?

SQ1-7) 韓国の家庭では, こうした祭祀をしないとどういうことが起こると考えられてきたのですか?

CA2) A 墓地 B 河畔 C 道路

CA3) A おばあさん B 赤ん坊
C おじいさん

本文

TA1) 韓国のシャーマニズムは遠い昔から韓国に根付いている祭天の民間信仰です。クツ (巫祭) でムーダン (巫堂) が神に捧げ物をし, 歌と踊りで, 運命を変えることなどを祈ります。

TA2) タリヨン (打令) は民謡の一種ですが, 身の上を延々と語る芸能をさしています。

TA3) トッケビは, 一種のキャラクターとして扱われ, 商品に使用されています。

TA4) 韓国では, 太った豚は豊かさを示すものと考えられてきました。

資1

RA1)

A1-1) 家庭の安全を祈る祭祀は, 麦や米の収穫に感謝することが元であったと推定されます。

A1-2) 儒教の祖先崇拝の最も基本的な徳目である「孝」に基づいており, 孝行が一番大切なことなのです。

A1-3) 祭壇に供える食物には, 薬味 (ニンニクやトウガラシ) を使わないことです。

A1-4) 韓国では魚類や肉類を祭壇に供えることです。

A1-5) 韓国の家庭では, こうした祭祀を年に8回, また, 大きな祭祀を年1回してきました。

A1-6) 韓国の家庭では, 大きな祭祀では30代前の祖先まで対象にします。

A1-7) こうした祭祀をしないと, 恨みや不満を持った先祖が祟ると考えられていました。

RQ 2) 韓国の村の信仰はどのようなものなのですか？	資 2	RA 2)
SQ 2-1) 韓国の村の入り口に石を積み上げて道を守る神であるソナンがありますが、かつて日本にも似たような神様が祀られていましたが、何でしょうか？		A 2-1) かつて日本で村の入り口に祀られていたのは道祖神（どうそしん）です。サイノカミと呼ばれることもあります。
SQ 2-2) 韓国の村の入り口に里程標ともなる守り神が立てられていることがあります。それはどんな神様なのですか？		A 2-1) 里程標ともなる守り神とは「天下大將軍」と「地下女將軍」と書かれた一對の柱状の神様です。
RQ 3) 韓国の「風水」とはどのような信仰なののでしょうか？	資 3	RA 3)
SQ 3-1) 韓国の「風水」の基本的な考え方はどのようなものなのですか？		A 3-1) 世界中に存在するものはすべて「気（き）」があると考え、その「気」がもっとも強い土地を生かすという考え方が風水です。
SQ 3-2) 韓国の「風水」で理想とされる土地はどのような場所とされていますか？		A 3-2) 「北側に山がそびえ、東西に丘があり、南側に川が流れ流」という平地です。
SQ 3-3) 韓国の都市で「風水」の理想がよく当てはまるとされたのはどこですか？		A 3-3) 現在のソウルは、朝鮮王朝が建国（1392年）した当初、朝鮮半島で最も「気」があふれる場所として首都に選ばれました。
SQ 3-4) SQ 3-3) に当てはめると、日本の韓国支配において、その「気」を断ち切ったとされ、戦後破壊された建築物は何ですか？		A 3-4) 日本の韓国支配において、その「気」を断ち切ったとされ、戦後破壊された建築物は旧朝鮮総督府の建物です。
RQ 4) 韓国の「四柱八字（サジュパルチャ）」という民間信仰はどのようなものなのですか？	資 4	RA 4)
SQ 4-1) 韓国の「四柱八字（サジュパルチャ）」という民間信仰の基本的な考え方はどのようなものなのですか？		A 4-1) 「四柱八字」とは、人の一生というものは生年月日と出生時刻によって決められているという考え方でこの占いも韓国の人々の生活に深く浸透している。
SQ 4-2) 韓国の「四柱八字（サジュパルチャ）」を結婚相手との相性の占いに用いると困ったことが生じるというが、それはどうしてか？		A 4-2) 誰もが生年月日と出生時刻は変えられない。それでも、占いで相性が悪くなれば、事実、親によって強引に別れさせられた男女は多い。本来の幸福を占うはずが、現在の束縛を招き寄せてしまうということです。
RQ 5) 韓国の巫堂の神霊とはどのようなものなのですか？	資 5	RA 5)
SQ 5-1) 韓国の巫堂の神霊のいくつかの特徴があげられていますね、そのポイントは何か、数点指摘すると？		A 5-1) 1) 数え切れないほど多い。2) 歴史の中から生まれたり、外国から来たりと由来は様々。3) 人格的な存在である。4) はっきりとした姿を備えていない。5) 天神は全知全能で、この世の主宰者。6) 良い神霊と悪い心霊の相違はない。
SQ 5-2) 韓国の人々は、様々な問題が起こ		A 5-2) 韓国の人々は、様々な問題が起こ

ると、この神霊との関係が原因ではないかと考えるそうですが、それはどんな行為なのですか？

RQ 6) 韓国の妖怪とはどのようなものなのですか？

SQ 6-1) 韓国の妖怪トッケビはもともとどのようなものだったのでしょくか？

SQ 6-2) 韓国の妖怪トッケビは「()」が元になって出現すると考えられていましたが、カッコにはどんなものが入るのでしょうか？

SQ 6-3) 現代の韓国の人々はトッケビをどのようなものと考えているのですかですか？

SQ 6-4) 現代の韓国の人々のトッケビのイメージに大きな影響を与えたのは日本の植民地時代に入って来たあるもののイメージだとも言われていますが、それは何ですか？

RQ 7) 韓国済州島の石像はどのようなものなのですか？

SQ 7-1) 韓国済州島の石像トラハルバンの特徴はどんなところですか？

SQ 7-2) 石像トラハルバンはいつ頃作られたものですか？

SQ 7-3) 石像トラハルバンはどんなご利益があるのでしょうか、済州島のガイドさんは「 」したい若者が撫でるといいと言いました。「 」には何という言葉が入るのでしょうか？

RQ 8) 韓国で幸福を呼ぶとされる豚(テジ)は韓国人の生活とどう関わるのですか？

SQ 8-1) 韓国人は子どもの頃1度は豚(テジ)の貯金箱を持ったことがあるというが、なぜ豚の貯金箱なのですか？

SQ 8-2) 韓国の干支(かんし)の最後の動物は「豚」ですが、日本ではそれに当たるのは何ですか？

ると、この神霊をよく祀らなかつたからではないかと考えるのです。

資 6 RA 6)

A 6-1) 神霊と同じく形がなかつたが、のちには人間に似ていたが好んで特殊な能力を持っているものとしてイメージされました。

A 6-2) 韓国の妖怪トッケビは「ほうき、オンドルの火き棒、すりこぎ、唐竿」が元になって出現すると考えられていました。日本で昔99年経った「モノ」が妖怪になる付喪(ツクモ=つく百)神とよく似ています。

A 6-3) 現代の韓国人が一般的に想像するトッケビは、1) 頭に角が突き出ている、2) 原始人の服装をして、3) トッケビ棒を握っている姿です。

A 6-4) トッケビのイメージに大きな影響を与えたのは日本の説話(昔話)に出てくる鬼のイメージでした。

資 7 RA 7)

A 7-1) 済州島の石像トラハルバンの特徴は、1) 必ず1対であること、2) 帽子をかぶった男性(おじいさん)として形象されていることです。

A 7-2) 石像トラハルバンは18世紀中頃に作られたものです。

A 7-3) 済州島のガイドさんは「結婚」したい若者が撫でるといいと言いました。

資 8 RA 8)

A 8-1) 豚の韓国語読みは日本の漢字の音読みと同じで「トン」ですが、韓国でお金を意味する「トン」の音に似ているのだそうです。

A 8-2) 日本で韓国の干支(かんし)「豚」に当たるのは、「イノシシ(猪)」です。

SQ 8-3) 韓国では豚(テジ)年生まれの女性はお見合いなどで人気が高いそうですが、なぜでしょうか？

A 8-3) 豚(テジ)年生まれの女性は幸福をもたらすと考えられたからです。

資料1 家庭信仰(『朝鮮をどう教えるか』編集委員会編著『朝鮮をどう教えるか』解放出版社 2001 p.17)(『朝鮮をどう教えるか』編集委員会編著『朝鮮をどう教えるか』解放出版社 2001 p.16)(樋口淳『妖怪・神・異郷 日本・韓国・フランスの民話と民俗』悠書館 2015 pp.112-113)

資料2 村の信仰(『朝鮮をどう教えるか』編集委員会編著『朝鮮をどう教えるか』解放出版社 2001 p.17)

資料3 韓国巫覡(ふげき)の神霊(趙興胤著/小川晴久監修/李恵玉編訳『韓国の巫(シャーマニズム)』彩流社 2002 p.92)

資料4 韓国の「風水」(康熙奉『朝鮮王朝と現代韓国の悪女列伝 魔性の女の栄華と転落!』双葉社 2017 pp.151-152)

資料5 韓国の「四柱八字(サジュパルチャ)」(康熙奉『朝鮮王朝と現代韓国の悪女列伝 魔性の女の栄華と転落!』双葉社 2017, p.152)

資料6 韓国の妖怪(トッケビ: ja.wikipedia.org 2017/03/17 アクセス)(樋口淳『妖怪・神・異郷 日本・韓国・フランスの民話と民俗』悠書館 2015 pp.166-168)

資料7 韓国済州島の石像

資料8 幸福を呼ぶ豚(テジ)(ちょん・ひょんしる『民話で知る韓国』日本放送出版協会 2006 pp.98-99 (抄))

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

*韓国では、民間信仰も行われてきた。

*韓国では、民間信仰の1つとして、シャーマニズム的な伝統をひきつぐ巫堂ではムードンが祭祀(クッ)をおこなってきた。

*韓国では、民間信仰の1つとして、「風水」が信仰されてきた。

*韓国では、民間信仰の1つとして、「四柱八字(サンジュパルチュ)」が信仰されてきた。

*韓国では、妖怪、縁結びの神、さらには幸運の象徴としてテジ(豚)が信仰されてきた。

5-6. (5) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 A. 人々の一年

「(5) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 A. 人々の一年」の構成は以下の通りである。

(5) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 A. 人々の一年

(本文) 韓国に暮らす人々の慣習について、一年を単位としてみることにしよう。一年は、表面的には西暦であるが、実際の年中行事はすべてとっていいほど、旧暦によって行われ、背景には儒教等伝統的な考え方がいまでも、人々の生活を規定しています。とくに「元旦(ソルラル)」「寒食(ハンシッ)」「タノ(端午)」「チュソク(秋夕)」が4大名節です。そのいくつ

かを紹介しましょう。「元旦（ソルラル）」は正月のことです。1年間の無病息災を祈り先祖に感謝します。正月にはお雑煮を食べ、子どもはお年玉をもらいます。「寒食（ハンシッ）」は冬至から105日目、火を使わないで冷たいものを食べる日です。また、3月3日にはツツジの花餅がつくれます。「タノ（端午）」は5月5日、田植えが終わってその年の豊作を祈る日です。夏を過ぎ、9月末には「チュソク（秋夕）」とよばれる一大行事があります。祖先の墓参に一族そろっていき墓前で宴を行うのです。秋夕の前にはお墓の掃除をします。また、その食事の準備のすべてを取り仕切るその家のお嫁さんにとっては、大変重労働の日々を送るのです。また、かつて、この時期には、冬支度の1つとして沢山キムチを漬けることがここかしこで見られ、キムチボーナスが会社から支給されたこともありました。

発問	資料	応答
<p>[本文に関する3択問題]</p> <p>CQ1) 韓国と日本の「元旦（ソルラル）」で共通に行われることは何でしょうか？ A お雑煮を食べる B 子どもはお年玉をもらう C 凧揚げをする</p> <p>CQ2) 韓国の「タノ（端午）」には女の子はそれをゆでた湯で髪を洗い、男の子はそれを腰につけますが、それとはなにでしょうか？ A 藤 B レンゲ C 菖蒲</p> <p>CQ3) 韓国の「チュソク（秋夕）」に見られる社会現象は何ですか？ A 家系を継ぐ長男の家に集まる B 一斉に故郷に帰省する C 墓参をする</p>	なし	<p>CA1) 韓国と日本のお正月で共通に行われることは、<u>A 韓国の人々はお雑煮を食べる B 子どもはお年玉をもらう</u> <u>C 凧揚げをする</u></p> <p>CA2) 韓国の「タノ（端午）」には女の子はそれをゆでた湯で髪を洗い、男の子はそれを腰につけますが、それとは <u>A 藤 B レンゲ C 菖蒲</u>です。</p> <p>CA3) 韓国の「チュソク（秋夕）」に見られる社会現象は、<u>A 家系を継ぐ長男の家に集まる B 一斉に故郷に帰省する</u> <u>C 墓参をする</u>です。</p>
<p>[本文に関する発問]</p> <p>TQ1) 韓国では、年中行事のほとんどが西暦に基づいてはいませんが、それらは何に基づいて行われるのですか？</p> <p>TQ2) 韓国のお正月について、日本と似ているところは何ですか？</p> <p>TQ3) 韓国では、3月3日に日本で菱餅に当たる餅が作られますが、それは何ですか？</p> <p>TQ4) 韓国では、日本からのツアーが組まれない時期がありますが、それはいつ頃で、なぜなのでしょう？</p> <p>TQ5) 韓国でかつては各所の家庭で冬支度の1つとして年中行事のように行われたことは何だったのでしょうか？</p>	本文	<p>TA1) 韓国では、年中行事のほとんどが旧暦に基づいて行われるのです。</p> <p>TA2) 韓国のお正月について、日本と似ているところは、お雑煮を食べることや子どもはお年玉をもらうことです。</p> <p>TA3) 韓国では、3月3日にツツジの花餅が作られます。</p> <p>TA4) 韓国では、日本からのツアーが組まれない時期があり、それは9月の秋夕（チュソク）の時期で、韓国の人々が皆先祖の墓参で「民族大移動」を起こすからです。</p> <p>TA5) 家庭で冬支度の1つとして年中行事のように行われたことはキムチ作りでした。</p>
<p>[資料に関する発問]</p> <p>RQ1) 韓国では、元旦（ソルラル）にはどんなことが行われるのでしょうか？</p> <p>SQ1-1) 韓国では、かつて元旦（ソルラル）には晴れ着（ソルピム）をきました</p>	資1	<p>RA1)</p> <p>A1-1) 元旦には晴れ着（ソルピム）をきましたが、15日まで着ていました。</p>

が、それはいつまで続いたのでしょうか？

SQ 1-2) 韓国では、元旦には家族が集まる部屋にはどんなものが用意されていますか？

SQ 1-3) 韓国では、正月に歳拝（セベ）が行われるとありますが、どういうことなのでしょう？

RQ 2) 韓国では、寒食（ハンシッ）にはどんなことが行われるのでしょうか？

SQ 2-1) 寒食（ハンシッ）とは何なのでしょう？

SQ 2-2) なぜ韓国では、寒食（ハンシッ）という行事が行われてきたのですか？

SQ 2-3) 今でも、韓国では、寒食（ハンシッ）という行事が行われていますか？

RQ 3) 韓国では、端午（タノ）にはどんなことが行われるのでしょうか？

SQ 3-1) 日本では、端午の節句といえば男の子を祝うものとされ、今ではこどもの日として男女ともに祝いますが、韓国ではそのお祝いの対象は誰ですか？

SQ 3-2) 韓国では、端午の節句はもともとどんな行事だったのですか？

SQ 3-3) 韓国で、端午の節句に女性が菖蒲を使ってすることは何だったのでしょうか？

SQ 3-4) 韓国で、端午の節句に女性が家の庭などでした遊びは何だったのでしょうか？

SQ 3-5) 韓国で、端午の節句に男性が戸外でした遊びは何だったのでしょうか？

RQ 4) 韓国では、秋夕（チュソク）にはどんなことが行われるのでしょうか？

SQ 4-1) 秋夕（チュソク）に、韓国の人々が先祖の墓参をして行う儀礼は何と呼ばれていますか？

SQ 4-2) 秋夕（チュソク）に、引き起こされる社会問題とは何ですか？

SQ 4-3) 秋夕（チュソク）の代表的なご馳走にはどんなものがありますか、また、これらは元々どんなものだったのですか？

A 1-2) 元旦には家族が集まる部屋にはお酒とお供えが用意されます。

A 1-3) 正月に行われる歳拝（セベ）とは年少者が年長者を訪問して挨拶をすることです。

資 2 RA 2)

A 2-1) 寒食（ハンシッ）とは、前日から用意しておいたナムルをおかず冷たいご飯を食べる行事です。

A 2-2) 寒食（ハンシッという行事は、季節の変わり目の火の用心のために、また、本格的な農作業の前の節目としても、行われて着ました。

A 2-3) 今では、韓国の都市部では、寒食（ハンシッ）という行事が行われていません。

資 3 RA 3)

A 3-1) 韓国では端午の節句のお祝いの対象は老若男女を問いません。

A 3-2) 端午の節句はもともと田植えが終わり、豊作を祈念する行事でした。

A 3-3) 韓国で、端午の節句に女性が菖蒲を使ってすることは髪を洗うことでした。

A 3-4) 端午の節句に女性が家の庭などでした遊びはクネ（ブランコ）でした。

A 3-5) 端午の節句に男性が戸外でした遊びはシムル（相撲）でした。

資 4 RA 4)

A 4-1) 韓国の人々が先祖の墓参をして行う儀礼は茶礼といえます。

A 4-2) 秋夕（チュソク）に、引き起こされる社会問題とは年に一度の交通渋滞です。

A 4-3) 代表的なご馳走には
松葉むし餅（米）
黄な粉餅（豆、米）

<p>「元旦（ソルラル）」</p> <p>RQ 5) 韓国では、キムチ作りはいつ頃行われてきたのでしょうか？</p> <p>SQ 5-1) 韓国では、キムチ作りはいつ頃行われるのですか？</p> <p>SQ 5-2) 韓国で、キムチ作りの季節を迎える頃、白菜や大根と並んで市場で売られるものは何ですか？</p> <p>SQ 5-3) 韓国で、長いことキムチ作りの主役は誰が果たしてきましたか？</p>	<p>資 5</p>	<p>栗だんご（栗） 里芋汁（里芋） 牛カルビ煮（牛） 牛と野菜の串焼き（牛、野菜） などがあります。これらは基本的には秋の収穫物です。</p> <p>RA 5)</p> <p>A 5-1) 韓国では、キムチ作りは10月ごろ行われます。</p> <p>A 5-2) 市場で売られるものはキムチを入れる大きな素焼きのかめが売られます。</p> <p>A 5-2) キムチ作りの主役はその家の主婦が果たしてきました。</p>
--	------------	--

資料1 「元旦（ソルラル）」（金思燁『韓国・歴史と詩の旅』明石書店 2000 p.307）

資料2 「寒食（ハンシッ）」（康熙奉『知れば知るほど面白い 朝鮮王朝の歴史と人物』実業之日本社 2011 p.146）

資料3 「タノ（端午）」（『朝鮮をどう教えるか』編集委員会編著『朝鮮をどう教えるか』解放出版社 2011 p.19）

資料4 「チュソク（秋夕）」（朴一監修／山下透明・平岡康裕・高炫美『韓国のことがマンガで3時間でわかる本』明日香出版社 2005 p.82）

資料5 「キムチ作り」（金思燁『韓国・歴史と詩の旅』明石書店 2000 p.235）

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

*韓国では、実際の年中行事はすべて旧暦によって行われ、背景には儒教等伝統的な考え方がいまでも、人々の生活を規定している。

*韓国では、年中行事の中でも、とくに「元旦（ソルラル）」「寒食（ハンシッ）」「タノ（端午）」「チュソク（秋夕）」が4大名節として行われている。

*韓国では、かつては、秋のキムチ作りも重要な年中行事であった。

5-7. (6) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 B. 人々の一生

「(6) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 B. 人々の一生」の構成は以下の通りである。

(6) 韓国の社会 2. 慣習・日常生活 B. 人々の一生

(本文) 韓国に暮らす人々の慣習について、一生を単位としてみることにしよう。

韓国では、誕生から永眠まで、それぞれの年齢に応じた人生儀式があります。出生祝い、百日祭、満1歳の誕生日祝い、成人の日、還暦などを祝います。

日本に比べると企業などの定年は45～57歳とずいぶんわかく労働からさります。といいますが、これも儒教の考え方が今でも生活にしみ込んでいるからです。たとえば、ものをつくることや、サービスすることは、両班とよばれた人々は自分でしないものとされてきたからです。そこで、朝鮮半島では、日本のような老舗がありません。商売で成功を取めると、繁盛している店を売り払い、その資金で悠々と生活をしていくことが理想とされます。「額に汗をしてみんなが働く」というのが西洋的な近代の労働観であるとすれば、それとはまったく違った考え方をもっているのです。また、ものづくりなどの専門家も生まれにくいところがあります。

発問	資料	応答
<p>[本文に関する3択問題]</p> <p>CQ1) 韓国では子どもが1歳になるとそれを祝いますが、その祝いの膳には、餅や果物とともに、子どもの将来を占うために本などが置かれます。これは一種の占いなのですが、他にどのようなものが置かれますか？ A 鉛筆 B お金 C 糸</p> <p>CQ2) 韓国では、それを輸出しているくらい生産されているのに、特に、大学教授やサラリーマンが乗らない乗り物とはなんでしょう？ A 自転車 B タクシー C バス</p> <p>CQ3) 韓国で墓地の近くにあって葬礼に欠かせないものを提供している職業は何でしょう？ A 花屋 B 肉屋 C 石屋</p>	<p>なし</p>	<p>CA1) その祝いの膳には、餅や果物とともに、子どもの将来を占うために本の他に <u>A 鉛筆 B お金 C 糸</u>が置かれる。</p> <p>CA2) 韓国では、それを輸出しているくらい生産されているのに、乗らない乗り物とは <u>A 自転車 B タクシー C バス</u>です。</p> <p>CA3) 韓国で墓地の近くにあって葬礼に欠かせないものを提供している職業は <u>A 花屋 B 肉屋 C 石屋</u>です。</p>
<p>[本文に関する発問]</p> <p>TQ1) 韓国の人々の一生にはどんな人生儀礼がありますか？</p> <p>TQ2) 日本と比べて、韓国の企業などの定年はどんな特色がありますか？</p> <p>TQ3) TQ2) の理由として挙げられているのはどんなことですか？</p> <p>TQ4) 韓国では、日本のような老舗(しにせ)がありませんが、それはなぜですか？</p> <p>TQ5) 韓国では、葬儀は儒教式ですが、どのように行われますか？</p>	<p>本文</p>	<p>TA1) 韓国の人々の一生には、出生祝、百日祝、満1歳、成人式、還暦などの人生儀礼があります。</p> <p>TA2) 国の企業などの定年は45～57歳と日本に比べて若い。</p> <p>TA3) 定年が若いのは、何も労働をしない両班の伝統があるからであるといわれています。</p> <p>TA4) 韓国では、商売で成功するとその店を売り払い、入ったお金で余生を送るのが理想だからです。</p> <p>TA5) 韓国では、葬儀は原則として土葬で行われ、土饅頭が作られます。</p>
<p>[資料に関する発問]</p> <p>RQ1) 韓国では、人々は誕生から永眠までどのような人生を送るのでしょうか？</p> <p>SQ1-1) 「ソウルっ子の一生」から、日本と異なる点を見つけてみましょう、どんな点がありますか？</p>	<p>資1</p>	<p>RA1)</p> <p>A1-1) 日本と異なる点は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の入学が3月2日 ・満18歳で住民登録カード取得 ・男子は通常2～3年生の間に軍隊へ

<p>RQ 2) 韓国では、定年を迎えた人々はどのような行動をとることが多いのでしょうか？</p> <p>SQ 2-1) 韓国では、定年を迎えた人々は多少元手があると再起を図るためによくある店を開きますが、それは何ですか？</p> <p>SQ 2-2) コーヒーショップやフライドチキンの店はうまくいっているのですか？</p> <p>SQ 2-3) 毎年韓国で新しく開店する店はどのくらいあるのですか？</p>	<p>資 2</p>	<p>・満 57 歳退職などです。</p> <p>RA 2)</p> <p>A 2-1) 韓国では、定年を迎えた人々は多少元手があると再起を図るために、コーヒーショップやフライドチキンの店を開きます。</p> <p>A 2-2) コーヒーショップやフライドチキンの店はうまくいかないことも多く、66 万店が閉店しています。</p> <p>A 2-3) 毎年韓国で新しく開店する店は 56 万店あります。</p>
---	------------	---

資料 1 「誕生～永眠までの人生」(夏川大輔『旅の雑学ノート ソウル 1000 万ソウルっ子の生活を見に行く』ダイヤモンド社 2008 p.265)

資料 2 「企業の定年」(金慶珠『恨の国・韓国 なぜ、日韓は噛み合わないのか』祥伝社 2015 p.81)

資料 3 「老舗がない韓国」(康熙奉『知れば知るほど面白い 朝鮮王朝の歴史と人物』実業之日本社 2011 pp.120-121)

資料 4 「匠(たくみ)がない韓国」(シンシアリー『韓国人による沈韓論』扶桑社 2014 pp.102-103 (抄))

資料 5 「乗り物事情」(豊田有恒『いま韓国人は何を考えているのか』青春出版社 2002 pp.12-14 (抄))

以上の学習を通して達成される内容目標は以下のとおりである。

[目標]

- *韓国では、誕生から永眠まで、それぞれの年齢に応じた人生儀式がある。
- *韓国では、企業などの定年は 45～57 歳とずいぶんわかく労働からさる。これも、ものをつくることや、サービスすることは両班とよばれた人々は自分でしないものとされてきたからである。
- *韓国では、商売で成功を収めると、繁盛している店を売り払い、その資金で悠々と生活をしていくことが理想とされ、日本のような老舗がない。
- *韓国では、ものづくりの専門家が生まれにくい。

6. おわりに 中間的成果と課題

6-1. 内容面の中間的成果と課題

[中間的成果]

1) 高等学校地理歴史科及び公民科で使用可能な教材ソフトとそれを有効に活用するためのアクティビティ・マニュアルとをセットで開発することを、新たな研究目的とし

た。具体的な内容としては、グローバルな視点からの他国理解を目指して教材ソフトの開発を進めてきた経緯をふまえ、対象地域を朝鮮半島とし、韓国を中心にしながらも北朝鮮も視野に入れて教材研究につとめた。

2) 対象地域を朝鮮半島としたが、さらに、取り上げる教材ソフトの学習内容のおおまかな分類としては、以下のようにした。

- ア) 韓国の社会
- イ) 韓国の文化
- ウ) 韓国の歴史
- エ) 韓国の政治・経済・外交

本論文は、上記ア) 韓国の社会の前半部を取り上げ、考察したものである。ただし、参考文献は、以下論文統編では省略することも想定されるので、2017年6月現在で、参考・引用した文献全てをあげている。

3) 今回取り上げた学習内容は、韓国の社会について理解するのに不可欠な宗教と日常生活を取り上げた。それぞれは、韓国に固有な事柄が多いが、個々の事象を学習していくと、韓国の社会に通底し、韓国の現在を理解していくのに不可欠な見方や考え方に触れることができるようになっている。

[課題]

1) 教材ソフトとアクティビティ・マニュアルとは、全体では膨大なものとなるので、このような論文として発表すると、ソフト自体のうちの一部を紹介し、考察を加えることしかできない。これは、克服し難い課題である。

6-2. 方法面の中間的成果と課題

[中間的成果]

1) 本研究は、まだ中間的なものである。しかし、メディア・シンフォニック電子教科書開発の最初のものであり、パイロット研究的な性格を持つものであるが、方法面で以下の成果が確認できた。Macに断続的にバンドルされている(無償の)ソフトであるテキスト・エディットのみをメイン・デバイスとして使用するのみで、教材ソフト開発ができた。テキスト・エディットはWindowsのメモ帳に相当し、これによって開発された教材ソフトは相互互換性を有し、OSフリーという大変優れた教材としての特性を持っている。結果、汎用性のある教材ソフト開発ができた。

2) 本文作成において参照し、また本文と関連のある重要語句について、4000ものデータベースを作成し、その中から、セレクトされた1~3のデータとリンクさせること(これは、ある程度、以前の研究でもできたいたが)、それに加えて、そのデータ資料(と本文)に対応した「アクティビティ・マニュアル」を開発したことは、これまでに

ない成果である。その発問部分を活かせば即教師用指導マニュアル（ソフト）として活用できるし、その発問部分と回答部分を合成し、発問部分を追って生徒が自主的に学習し、回答部分でその確認を行うという生徒用学習マニュアル（ソフト）を開発したことになる。目下、この部分は、ペーパーベースであるが、近未来的には、この部分も本体と連動した、メディア・シンフォニック電子教科書の一部として連関させるか、合体させて本体の一部として組み込むことも可能である。

3) チャレンジしたい先生方には、メディア・シンフォニック電子教科書のページの設計図に当たるスクリプトを本論文においては公開している。公的資金を得ての成果を少しでも教育現場（実社会）に還元できればとの希望も込めてのことである。とはいうものの、現場の教員にとって、これだけの資料を収集したり、画像を得たりするのは困難である。そこで、今後も、できる限り、著作権や肖像権などからもフリーな教材ソフトの作成を模索していきたい。

[課題]

この韓国についてのメディア・シンフォニック電子教科書教材について、残る部分の完成を目指し、韓国についての定番教材ソフトの開発につなげたい。

付記

本論文は、平成26年度～平成29年度科学研究費基盤研究（C）「メディア・シンフォニック教材を用いた社会系電子教材開発の基礎的研究」（課題番号26381290）の成果報告である。

参考／引用文献一覧

先行研究

- 金子邦秀 ハイパーカードを用いた社会科教材開発の基礎的研究（1）-『地理への挑戦』と『ベトナム戦争』-『人文学』157 1995
- 金子邦秀 ハイパーカードを用いた社会科教材開発の基礎的研究（2）-『ベルサイユ条約』と『羊の角Ⅱ』-『文化學年報』45 1996
- 金子邦秀 ハイパーカードを用いた社会科教材開発の基礎的研究（3）-『19世紀の歴史発見』と『アンデスの世界』-『教育文化』5 1996
- 金子邦秀 ハイパーメディアによる教材開発（1）-高校日本史「室町時代の人々の一日」コース-『教育文化』7 1998
- 金子邦秀 歴史の流れを世界の歴史を背景に理解させる中学校のモデル 東アジアの海をめぐる躍動——四～一五世紀の日本と東アジア-『教育科学社会科教育』476 1999
- 金子邦秀 ハイパーメディアによる教材開発（2）-高校日本史「室町時代の人々の一月」コース-『教育文化』9 2000
- 金子邦秀 ハイパーメディアによる高校日本史の教材開発 浅香勝輔教授退任記念刊行会編『歴史と建築のあいだ』古今書院 2001
- 金子邦秀 ハイパーメディアによる教材開発（3）-高校日本史「室町時代の人々の一年」コース-『教育文化』12 2003
- 金子邦秀 ハイパーメディアによる教材開発（4）-高校日本史「室町時代の人々の一生」コース-『教育文化』14 2005

- 金子邦秀 メディア・シンセシスを用いた教材開発 (1)－中学校用教材ソフト『ニュージーランド』－『評論・社会科学』84 2008
- 金子邦秀 グローバルな視点を取り入れた中学校用教材ソフト『ニュージーランド』『グローバル教育』10 2008
- 金子邦秀 フランス・バーチャル・トリップ X 日間－世界遺産から生活文化までを活用した社会系教材(ソフト)開発－『世界遺産から身近な生活文化遺産までを活用した社会系教材開発研究(平成20年度文教協会助成金報告書)』2009
- 金子邦秀 メディア・オーケストレーション電子教科書の開発 (1)『ドイツ』『教育文化』21 2012
- 金子邦秀 メディア・オーケストレーション電子教科書の開発 (2)『ドイツ』『教育文化』22 2013
- 金子邦秀 メディア・オーケストレーション電子教科書の開発 (3)『ドイツ』『評論・社会科学』106 2013
- 金子邦秀 メディア・シンフォニック電子教科書の開発－小学校高学年／中学校用国際単元ソフト『世界の国々』－『社会科研究』82 2015

韓国／朝鮮文献

- 青木直人『日朝正常化の密約』祥伝社 2014
- 浅井亜紀子『天馬山 北朝鮮からの引き揚げ者の語り』春風社 2016
- 浅羽祐樹『したたかな韓国 朴槿恵時代の戦略を探る』NHK 出版 2013
- 浅羽祐樹・木村幹・佐藤大介『徹底検証 韓国論の通説・俗説 日韓対立の感情 VS. 論理』中央公論新社 2012
- 朝日新聞社「百年の明日 ニッポンとコリア」取材班『新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島 100年の明日』彩流社 2012
- 浅見雅一『韓国とキリスト教』中央公論新社 2012
- 麻生川静男『本当に悲惨な朝鮮史 「高麗史節要」を読み解く』KADOKAWA 2017
- 荒井信一『コロニアリズムと文化財 近代日本と朝鮮から考える』岩波書店 2012
- アントニオ猪木・辺真一『北朝鮮と日本人 金正恩体制とどう向き合うか』KADOKAWA 2014
- 李穂枝『朝鮮の対日外交戦略 日清戦争前夜 1876-1893』法政大学出版局 2016
- 李成茂・李熙真(平木實・中村葉子訳)『韓国史 政治文化の視点から』日本評論社 2015
- イ・ビョンフン(白井美友訳)『チャングム・イサンの監督が語る韓流時代劇の魅力』集英社 2012
- 池内敏『竹島 もうひとつの日韓関係史』中央公論新社 2016
- 池上彰『そうだったのか! 朝鮮半島』ホーム社〔集英社〕 2014
- イザベラ・バード(時岡敬子訳)『朝鮮紀行』講談社 1998
- 井沢元彦・呉善花『困った隣人 韓国の急所』祥伝社 2013
- 石井正己『博物館という装置 帝国・植民地・アイデンティティ』勉誠出版 2016
- 石田佐恵子・木村幹・山中千恵『ポスト韓流のメディア社会学』ミネルヴァ書房 2007
- 伊豆見元『北朝鮮で何が起きているのか 金正恩体制の実相』筑摩書房 2013
- 伊藤智永『忘却された支配 日本のなかの植民地朝鮮』岩波書店 2016
- 岩下哲典・大庭裕介・小川唯・高田誠・塚越俊志・中川仁・濱口裕介『東アジアのボーダーを考える 歴史・国境・認識』右文書院 2014
- 岩鼻通明『韓国・伝統文化のたび』ナカニシヤ出版 2008
- 任文桓『日本帝国と大韓帝国に仕えた官僚の回想』筑摩書房 2015
- 岩渕秀樹『韓国のグローバル人材育成力 超競争社会の真実』講談社 2013
- 宇田川敬介『韓国人知日派の言い分』飛鳥新社 2014
- 内海愛子『朝鮮人 BC 級戦犯の記録』岩波書店 2015
- 内山清行『韓国 葛藤の先進国』日本経済新聞社 2013
- 呉小元『ハダカの北朝鮮』新潮社 2013
- 呉善花『韓国併合への道 完全版』文藝春秋 2012

- 呉善花『反日・愛国の由来 韓国人から見た北朝鮮 増補版』PHP 研究所 2013
- 呉善花『毎日論 「韓国人」はなぜ日本を憎むのか』文藝春秋 2014
- 呉善花『朴槿恵の真実 哀しき反日プリンセス』文藝春秋 2015
- 呉善花『「反日韓国」の苦悩 老いも若きも未来に希望がない』PHP 研究所 2016
- 大沼保昭・江川紹子『「歴史認識」とは何か』中央公論新社 2015
- 岡谷公二『神社の起源と古代朝鮮』平凡社 2013
- 大槻健『日韓の未来をひらく教育交流』桐書房 1994
- 木村元『学校の戦後史』岩波書店 2015
- クォン・ヨンソク『「韓流」と「日流」文化から読み解く日韓新時代』日本放送出版協会 2010
- 小倉和夫『日本人の朝鮮観』日本経済新聞出版社 2016
- 小倉紀蔵『ハイブリッド化する日韓』NTT 出版 2010
- 小倉紀蔵『現代韓国を学ぶ』有斐閣 2012
- 小倉紀蔵『新聞・テレビが伝えなかった北朝鮮 市民経済と大衆文化が明らかにする真実の姿』角川書店 2012
- 小倉紀蔵『入門 朱子学と陽明学』筑摩書房 2012
- 小倉紀蔵『北朝鮮とは何か 思想的考察』藤原書店 2015
- 小倉紀蔵・小針進編『日韓関係の争点』藤原書店 2014
- 小和田泰経『朝鮮三国志 高句麗・百済・新羅の300年』新紀元社 2012
- 小和田泰経『朝鮮王朝史』新紀元社 2013
- 槽谷憲一・並木真人・林雄介『朝鮮現代史』山川出版社 2016
- 角間隆『金大中大統領 民族の誇り、指導者の資質』小学館 2000
- 片野次雄『戦乱三国の코리아史 高句麗・百済・新羅の英雄たち』彩流社 2007
- 片野次雄『善隣友好の코리아史 朝鮮通信使と吉宗の時代』彩流社 2007
- 片野次雄『李朝滅亡 自主の国への幻想と蹉跎』彩流社 2010
- 片野次雄『蒙古襲来の코리아史 高麗王国の悲哀と三別抄の抗戦』彩流社 2013
- 片野次雄『李舜臣の코리아史 秀吉の朝鮮出兵の全貌』彩流社 2013
- 加藤章『戦後歴史教育史論 日本から韓国へ』東京書籍 2013
- 加藤嘉一『北朝鮮スーパーエリートたちから日本人への伝言』講談社 2010
- 川島淳子『韓国美人事情』洋泉社 2001
- 韓国人研究者フォーラム編『国家主義を超える日韓の共生と交流 日本で研究する韓国人研究者の視点』明石書店 2016
- 韓国ドラマ時代劇王編集部『韓国時代劇の主役たち 朝鮮王朝を変えた55人』TOKIMEKI パブリッシング 2013
- 姜尚中『逆境からの仕事学』NHK 出版 2016
- 韓国経済新聞『韓国はなぜ危機か』中央公論新社 2016
- 康熙奉『知れば知るほど面白い 朝鮮王朝の歴史と人物』実業之日本社 2011
- 康熙奉編著／朴敏祐・西牟田希『韓流ドラマが10倍楽しめる朝鮮王朝の衣食住』実業之日本社 2013
- 康熙奉『徳川幕府はなぜ朝鮮王朝と蜜月を築けたのか』実業之日本社 2014
- 康熙奉『宿命の日韓二千年史 交流と攻防のドラマ』勉誠出版 2015
- 康熙奉『韓流スターと兵役 あの人は軍隊でどう生きるのか』光文社 2016
- 康熙奉『朝鮮王朝と現代韓国の悪女列伝 魔性の女の栄華と転落!』双葉社 2017
- 木村幹『朝鮮半島をどう見るか』集英社 2004
- 木村幹『民主化の韓国政治』名古屋大学出版 2008
- 金思燁『韓国・歴史と詩の旅』明石書店 2000
- 金成玫『戦後韓国と日本文化 「倭色」禁止から「韓流」まで』岩波書店 2014
- 金漢宗『韓国の歴史教育 皇国臣民教育から歴史教育問題まで』明石書店 2015
- 桑野淳一『韓国古寺紀行 日本仏教の源流を訪ねて』彩流社 2001

- 姜在彦『近代朝鮮の思想』紀伊国屋書店 1971
- 姜在彦『朝鮮儒教の二千年』講談社 2012
- コリアン・カルチャーズ『そこが知りたい！韓国・勝負強さの秘密』PHP 研究所 2010
- 岸本美緒『東アジアの「近世」』山川出版社 1998
- 木口政樹『アンニョンお隣さん 韓国暮らし27年のつぶやき』花伝社 2015
- 北島万次『秀吉の朝鮮侵略と民衆』岩波書店 2012
- 北朝鮮研究学会（北韓研究学会）編／石坂浩一監修『北朝鮮は、今』岩波書店 2007
- 柘淵信雄『日韓交渉史 明治の新聞に見る併合の軌跡』彩流社 1992
- 君島和彦『歴史教育から「社会科」へ 現場からの問い』東京堂出版 2011
- 君島和彦編『近代の日本と朝鮮 「された」側からの視座』東京堂出版 2014
- 木宮正史編著『日韓関係史 1965-2015 I 政治』東京大学出版会 2015
- 金日宇・文素然『韓国・濟州島と遊牧騎馬文化 モンゴルを抱く濟州』明石書店 2015
- 金美徳『なぜ韓国企業は世界で勝てるのか 新興国ビジネス最前線』PHP 研究所 2011
- 金重明『物語 朝鮮王朝の滅亡』岩波書店 2013
- 金鎮炫（桑島里枝訳）『日本人に本当に伝えたいこと 日・韓共同の家作りを夢見て』論創社 2009
- 金成玫『戦後韓国と日本文化 「倭色」禁止から「嫌韓」まで』岩波書店 2014
- 金学俊（金容権訳）『西洋人の見た朝鮮 李朝末期の政治・社会・風俗』山川出版社 2014
- 金漢宗『韓国の歴史教育 皇国臣民教育から歴史教科書問題まで』明石書店 2015
- 金文京『漢文と東アジア 訓読の文化圏』岩波書店 2010
- 金阿基編著／金阿基・金泰享・小幡倫裕・崔在聖『韓国の歴史を知るための66章』明石書店 2007
- 金昌國『ボクらの京城師範附属第二国民学校 ある知日家の回想』朝日新聞社 2008
- 権五定・斉藤文彦『「多文化共生」を問い直す グローバル化時代の可能性と展開』日本経済評論社 2014
- 黒田勝弘『韓国人の歴史観』文藝春秋 1999
- 黒田勝弘『“日本離れ”できない韓国』文藝春秋 2006
- 黒田勝弘『韓国 反日感情の正体』角川学芸出版 2013
- 黒田勝弘・武貞秀士『金正恩の北朝鮮 独裁の深層』KADOKAWA 2013
- 黒田勝弘『韓国人の研究』KADOKAWA 2014
- 黒田福美『黒田福美の韓国ぐるぐる ソウル近郊6つの旅 使える韓国語フレーズで旅先でも安心！』スッカラ 2013
- ケント・ギルバート『儒教に支配された中国人と韓国人』講談社 2017
- 高賛侑『ルポ 在日外国人』集英社 2010
- 黄文雄『犯韓論』幻冬舎 2014
- 奎章閣韓国学研究院（李淑仁）『朝鮮時代の女性の歴史 家父長的規範と女性の一生』明石書店 2015
- 国立歴史民俗博物館・平川南『〈歴博国際シンポジウム〉古代日本と古代朝鮮の文字文化交流』大修館書店 2014
- 高祐二『韓流ブームの源流 神戸に足跡を残した韓国・朝鮮人芸術家たち』社会評論社 2012
- 黄文雄『犯中韓論』幻冬舎 2014
- 高信太郎『まんが ハングル入門 笑っておぼえる韓国語』光文社 2009
- 高英起・カルロス矢吹『北朝鮮ポップスの世界』花伝社 2015
- 小島康敬『「礼楽」文化 東アジアの教養』べりかん社 2013
- 小竹裕一『アジア人との正しい付き合い方 異文化への眼差し』日本放送出版協会 2008
- 五味洋治『北朝鮮と中国 打算でつながる同盟国は衝突するか』筑摩書房 2012
- 五味洋治『女が動かす北朝鮮 金王朝三代「大奥」秘録』文藝春秋 2016
- 最相葉月『ナグネ 中国朝鮮族の友と日本』岩波書店 2015
- 斎藤直樹『北朝鮮「終わりの始まり」2001-2015』論創社 2016
- 坂本悠一『地域のなかの軍隊7 帝国支配の最前線 植民地』吉川弘文館 2015
- 佐藤勝巳『北朝鮮 「恨」の核戦略 世界一貧しい強国の論理』光文社 1993

- 佐藤大介『オーディション社会韓国』新潮社 2011
- 佐藤優『使える地政学 日本の大問題を読み解く』朝日新聞出版 2016
- 佐藤洋一郎『知ろう 食べよう 世界の米』岩波書店 2012
- 真田幸光『早わかり韓国』日本実業出版社 2002
- 澤田洋太郎『教科書が教えない日韓関係 2000年 地域史としての日本と韓国』彩流社 2002
- 重村智計『朝鮮病と韓国病 「差別」問題のタブー』光文社 1997
- 嶋陸奥彦『韓国農村事情 「儒」の国に生きる人々の生活』PHP 研究所 1985
- シャルロッテ・フォン・ヴェアシュア『モノが語る 日本対外交易史』藤原書店 2011
- 重村智計『韓国の品格』三笠書房 2008
- 島崎晋『〈図説〉よくわかる日本・中国・韓国の歴史と紛争』PHP 研究所 2014
- 島村初吉編著・訳『玄界灘を越えた朝鮮外交官 李芸 室町時代の朝鮮通信使』明石書店 2010
- 申東源(任正憐訳)『コレラ、朝鮮を襲う 身体と医学の朝鮮史』法政大学出版局 2015
- シンシアリー『韓国人による恥韓論』扶桑社 2014
- シンシアリー『韓国人による沈韓論』扶桑社 2014
- シンシアリー『韓国人による震韓論』扶桑社 2015
- シンシアリー『韓国人による嘘韓論』扶桑社 2016
- シンシアリー『韓国人による北韓論』扶桑社 2016
- シンシアリー・室谷克実・宝島取材班『韓国の下流社会 貧困で絶望する若者たち』宝島社 2016
- 新城道彦『朝鮮王公族 帝国日本の準皇族』中央公論新社 2015
- 進藤榮一『アジア力の世紀 どう生き抜くのか』岩波書店 2013
- 杉並歴史を語り合う会・歴史科学協議会編『隣国の肖像 日朝相互認識の歴史』大月書店 2016
- 杉山正明『海の国の記憶 五島列島 時空をこえた旅へ』平凡社 2015
- 鈴木琢磨『テポドンを抱いた金正日』文藝春秋 2006
- 関周一『朝鮮人のみた中世日本』吉川弘文館 2013
- 石平『韓民族こそ歴史の加害者である』飛鳥新社 2016
- 石平『なぜ中韓はいつまでも日本のようになれないのか わが国だけが近代文明を手にいれた歴史の必然』KADOKAWA 2017
- 辻子実『侵略神社 靖国思想を考えるために』新幹社 2003
- 須田努・清水克行『現代を生きる日本史』岩波書店 2014
- 須藤英徳『族譜』という伝説『アジア遊学 No.67 族譜 家系と伝説』勉誠出版 2004
- 徐毅植・安智源・李元淳・趙在貞(君島和彦・國分麻理・山崎雅稔訳)『日韓でいっしょに読みたい韓国史 未来に開かれた共通の歴史認識に向けて』明石書店 2014
- 徐淵昊『韓国の伝統芸能と東アジア』論創社 2015
- 高野潤『カラー版 新大陸が産んだ食物 トウモロコシ・ジャガイモ・トウガラシ』中央公論新社 2015
- 高月靖『日本語で遊ぶソウル』アドニス書店 2004
- 高月靖『徹底比較 日本 VS. 韓国』河出書房新社 2008
- 高月靖『もう一步奥へ こだわりのソウル・ガイド』河出書房新社 2010
- 高月靖『ワリカンにする日本人 オゴリが普通の韓国人』角川学芸出版 2012
- 竹田友康『ハモの旅、メンタイの夢 日韓さかな交流史』岩波書店 2013
- 武貞秀士『東アジア動乱 地政学が明かす日本の役割』KADOKAWA 2015
- 武貞秀士『なぜ韓国の外交は日本に敗れたのか 激変する東アジアの国家勢力図』PHP 研究所 2016
- 武田幸男編『新版 世界各国史 2 朝鮮史』山川出版社 2000
- 武光誠『国境の日本史』文藝春秋 2013
- 田中明『物語 韓国人』文藝春秋 2001
- 田中俊明『古代の日本と加耶』山川出版社 2009
- 田中宏・板垣竜太『日韓 新たな始まりのための 20s 章』岩波書店 2007
- 田中史生『越境の古代史 倭と日本をめぐるアジアネットワーク』筑摩書房 2009

- 谷見『中国・韓国 やきものと茶文化をめぐる旅』淡交社 2015
- 谷川一巳『鉄道で楽しむアジアの旅』平凡社 2014
- 池明観『韓国 民主化への道』岩波書店 1995
- 千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会『歩いて知る朝鮮と日本の歴史 千葉のなかの朝鮮』明石書店 2001
- 崔真碩『朝鮮人はあなたに呼びかけている ヘイトスピーチを越えて』彩流社 2014
- 崔碩栄『「反日」モンスターはこうして作られた』講談社 2014
- 崔文衡・子安宣邦『歴史の共有体としての東アジア 日露戦争と日韓の歴史認識』藤原書店 2007
- 崔文衡(齋藤勇夫訳)『韓国をめぐる列強の角逐 19世紀末の国際関係』彩流社 2008
- 趙貴花『移動する人びとの教育と言語 中国朝鮮族に関するエスノグラフィー』三元社 2016
- 趙景達『近代朝鮮と日本』岩波書店 2011
- 趙景達『近代日朝関係史』有志舎 2012
- 趙興胤『韓国の巫』彩流社 2002
- 趙世暎(姜喜代訳)『日韓外交史 対立と協力の50年』平凡社 2015
- 『朝鮮をどう教えるか』編集委員会編『朝鮮をどう教えるか』解放出版社 2001
- 鄭銀淑『北朝鮮の楽しい歩き方』双葉社 2015
- 鄭銀淑『中国東北部の「昭和」を歩く』東洋経済新報社 2011
- 月脚達彦『福沢諭吉と朝鮮問題 「朝鮮改造論」の展開と蹉跌』東京大学出版会 2014
- 月脚達彦『福沢諭吉の朝鮮 日朝清関係のなかの「脱亜」』講談社 2015
- 土屋武志『アジア共通歴史学習の可能性』梓出版社 2013
- 鄭大均『日韓併合期ベストエッセイ集』筑摩書房 2015
- テッサ・モーリス・スズキ(田代泰子訳)『北朝鮮で考えたこと』集英社 2012
- 土佐昌樹『韓国社会の周縁を見つめて 村祭・犬食・外国人』岩波書店 2012
- 豊田有恒『いま韓国人は何をを考えているのか』青春出版社 2002
- 豊田有恒『韓国は、いつから卑しい国になったのか』祥伝社 2017
- 豊田有恒『どの面下げての韓国人』祥伝社
- ドン・オーバードーフアー／ロバート・カーリン(菱木一美訳)『二つのコリア第三版 国際政治の中の朝鮮半島』共同通信社 2015
- 仲尾宏『朝鮮通信使の足跡 日朝関係史論』明石書店 2011
- 中塚明『これだけは知っておきたい 日本と韓国・朝鮮の歴史』高文研 2002
- 中根隆行『〈朝鮮〉表象の文化誌 近代日本と植民地をめぐる知の植民地化』新曜社 2004
- 中野葉子『不思議がいっぱい韓国』彩流社 2015
- 長野正孝『古代史の謎は「鉄」で解ける 前方後円墳や「倭国大乱」の実像』PHP 研究所 2015
- 中村修也『天智朝と東アジア 唐の支配から律令国家へ』NHK 出版 2015
- 中村稔『私の日韓歴史認識』青土社 2015
- 夏川大輔『旅の雑学ノート ソウル 100万ソウルっ子の生活を見に行く』ダイヤモンド社 2008
- 西尾幹二・呉善花『日韓 悲劇の真相』祥伝社 2015
- 西澤泰彦『植民地建築紀行 満洲・朝鮮・台湾を歩く』吉川弘文館 2011
- 日中韓3国共同歴史編纂委員会『新しい東アジアの近現代史・上 国際関係の変動で読む 未来をひらく歴史』日本評論社 2012
- 日中韓3国共同歴史編纂委員会『新しい東アジアの近現代史・下 テーマで読む人と交流 未来をひらく歴史』日本評論社 2012
- 日本軍「慰安婦」問題 web サイト制作委員会編『Q&A 朝鮮人「慰安婦」と植民地責任 あなたの疑問に答えます』御茶の水書房 2015
- 日本国際理解教育学会／ユネスコアジア太平洋センター(大津和子編)『日韓中でつくる国際理解教育』明石書店 2014
- 野口透『おそろべし韓国企業 日本がサムスンに勝てない理由』扶桑社 2010
- 信原修『雨森芳洲 朝鮮学の展開と禅思想』明石書店 2015

- 野間秀樹『ハングルの誕生 音から文字を創る』平凡社 2010
- ハイパープレス『「韓国人」そこが知りたいドッキリ雑学』青春出版社 2000
- 蓮池薫『半島へふたたび』新潮社 2009
- 橋爪大三郎『世界は宗教で動いている』光文社 2013
- 服部龍二『外交ドキュメント 歴史認識』岩波書店 2015
- 韓均子『現代韓国社会を知るためのハンドブック』明石書店 2006
- 韓哲昊・金基承・金仁基・趙王鎬(三橋広夫訳)『韓国近現代の歴史 検定韓国高等学校現代史教科書』明石書店 2009
- 韓洪九／李泳孚監訳解説／佐伯洋子訳『韓国・独裁のための時代 朴正熙「維新」が今よみがえる』彩流社 2015
- 朴一『日本人と韓国人「タテマエ」と「ホンネ」「韓流知日」を阻むもの』講談社 2012
- 朴一『越境する在日コリアン 日韓の狭間で生きる人々』明石書店 2014
- 朴一監修／山下透・平岡康裕・高炫美『韓国のことがマンガで3時間でわかる本』明日香出版社 2005
- 朴慶植『朝鮮人強制連行の記録』未来社 1965
- 朴泰赫・加瀬英明『醜い韓国人《歴史検証編》これは本当のことではないのか』光文社 1995
- 朴美暎『韓国の「鬼」ドッケビの視覚表象』京都大学学術出版会 2015
- 朴裕河『和解のために 教科書・慰安婦・靖国・独島』平凡社 2011
- 原朗『日清・日露戦争をどう見るか 近代日本と朝鮮半島・中国』2014
- 原田信男『神と肉 日本の動物供犠』平凡社 2014
- 樋口淳『妖怪・神・異境 日本・韓国・フランスの民話と民俗』悠書館 2015
- 玄吉彦(玄善允訳)『島の反乱、一九四八年四月三日 濟州島四・三事件の真実』同時代社 2016
- 玄武岩『「反日」と「反韓」の同時代史 ナショナリズムの境界を越えて』勉誠出版 2016
- 平井敏晴『韓国人には、ご用心!』三五館 2012
- 平岩俊司『北朝鮮 変貌を続ける独裁国家』中央公論新社 2013
- 平田由紀江・小島優生『韓国家族 グローバル化と「伝統文化」のせめぎあいの中で』亜紀書房 2014
- 平松洋子『食べる旅 韓国むかしの味』新潮社 2011
- 廣瀬憲雄『古代日本外交史 東部ユーラシアの視点から読み直す』講談社 2014
- 船橋洋一『21世紀 地政学入門』文藝春秋 2016
- 藤原聖子『世界の教科書で読む〈宗教〉』筑摩書房 2011
- ブランドン・パーマー(塩谷紘訳)『検証 日本統治下朝鮮の戦時動員 1937-1945』草思社 2014
- 古川美紗子『姑は韓国人』オークラ出版 2016
- 古田博『朝鮮民族を読み解く』筑摩書房 2005
- 古田博司『醜いが、目をそらすな、隣国・韓国!』ワック 2014
- 慧門『民族文化財を探し求めて 朝鮮の魂の回復』影書房 2014 0830
- 許榮善(村上尚子訳)『語り継ぐ 濟州島四・三事件』新幹社 2014
- 洪珉杓『日韓の言語文化の理解』風間書房 2007
- 黄慧性・石毛直道『韓国の食』平凡社 1988
- 保坂祐二『〈独島・竹島〉の日韓史』論創社 2016
- 本間九介(クリストファー・W・A・スビルマン訳)『朝鮮雜記 日本人が見た1894年の李氏朝鮮』祥伝社 2016
- 前川恵司『交わらないから面白い日韓の常識』祥伝社 2016
- 牧野愛博『北朝鮮秘録 軍・経済・世襲権力の内幕』文藝春秋 2013
- 水谷千秋『継体天皇と朝鮮半島の謎』文藝春秋 2013
- 水野直樹『創氏改名 日本の朝鮮支配の中で』岩波書店 2008
- 水野直樹・文京洙『在日朝鮮人 歴史と現在』岩波書店 2015
- 水野俊平『ここが一番おもしろい!朝鮮王朝の王と女たち』青春出版社 2011
- 水野俊平『朝鮮王朝を生きた人々 その隠されたエピソード』河出書房新社 2012

- 水野俊平『庶民たちの朝鮮王朝』角川学芸出版 2013
- 水野俊平『笑日韓論』フォレスト出版 2014
- 宮家邦彦『哀しき半島国家 韓国の結末』PHP 研究所 2014
- 宮脇淳子『韓流時代劇と朝鮮史の真実 朝鮮半島をめぐる歴史歪曲の舞台裏』扶桑社 2014
- 武藤正敏『日本大使が徹底分析 韓国の大誤算』悟空出版 2016
- 室谷克実『日韓がタブーにする半島の歴史』新潮社 2010
- 室谷克実『悪韓論』潮社 2013
- 室谷克実『韓国は裏切る』新潮社 2016
- 森平雅彦『モンゴル帝国の覇権と朝鮮半島』山川出版社 2011
- 六反田豊『朝鮮王朝の国家と財政』山川出版社 2013
- 毛受敏浩『国際交流・協力活動入門講座 IV「多文化パワー」社会 多文化共生を超えて』明石書店 2007
- 矢木毅『韓国の世界遺産 宗廟 王位の正当性をめぐる歴史』臨川書店 2016
- 安田浩一・朴順梨『韓国のホンネ 市井の若者から、「韓国ネトウヨ」まで』竹書房 2013
- 藪中三十二『日本の針路 ヒントは交隣外寇の歴史にあり』岩波書店 2015
- 山内弘一『朝鮮からみた華夷思想』山川出版社 2003
- 山下英愛『女たちの韓流 韓国ドラマを読み解く』岩波書店 2013
- 山口真典『北朝鮮経済のカタクリ』日本経済新聞社 2013
- 尹健次『もっと知ろう朝鮮』岩波書店 2001
- 尹健次『「在日」の精神史 1 渡日・解放・分断の記憶』岩波書店 2015
- 尹健次『「在日」の精神史 2 三つの国家のはざままで』岩波書店 2015
- 尹健次『「在日」の精神史 3 アイデンティティの揺らぎ』岩波書店 2015
- 尹姬珍(大図建吾訳)『韓国の教科書に出てくる人物コリア史1 古代・三国～高麗時代』彩流社 2011
- 尹姬珍(大図建吾訳)『韓国の教科書に出てくる人物コリア史2 朝鮮王朝時代』彩流社 2012
- 尹姬珍(大図建吾訳)『韓国の教科書に出てくる人物コリア史3 近現代』彩流社 2013
- 米原謙・金鳳珍・區建英『被害アジアのナショナリズムと近代 なぜ対立するのか』大阪大学出版会 2011
- 読売新聞政治部『「日中韓」外交戦争』新潮社 2016
- 若宮啓文『韓国知識人との対話 I 日韓の未来をつくる』慶應義塾大学出版 2015
- 和田春樹・内海愛子・金泳鎬・李泰鎮『日韓 歴史問題をどう解くか-次の100年のために』岩波書店 2013
- 洋泉社編集部『いまがわかる 世界史の教科書』洋泉社 2016
- 吉澤文寿『日韓会談 1965 戦後日韓関係の原典を検証する』高文研 2015
- 吉田敏『古代の都はどうつくられたのか』吉川弘文館 2011
- 吉田康彦『北朝鮮を見る、聞く、歩く』平凡社 2009
- 米村耕一『北朝鮮・絶対秘密文書 体制を脅かす「悪党」たち』新潮社 2015
- 李成市『東アジア文化圏の形成』山川出版社 2003
- 李久雄『台湾人から見た日本と韓国』ワニブックス 2015
- 李景珉監修/水野俊平『韓国の歴史』河出書房新社 2007
- 歴史教育者協議会『教科書に書かれなかった戦争・Part 36 日本と韓国の歴史教科書を読む視点 先史時代から現代までの日韓関係史』梨の木舎 2000
- 歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編『向かい合う日本と韓国・朝鮮の歴史 前近代編・上』青木書店 2006
- 歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編『向かい合う日本と韓国・朝鮮の歴史 近現代編・上』青木書店 2015
- 文化遺産
- 海老澤衷・服部英雄・飯沼賢次『重要文化的景観への道 エコ・サイトミュージアム田染荘』勉誠出版

2012

- 江良直紀『社会科から楽しめる世界遺産 旅行者・教師・生涯学習者のための1冊』幻冬舎 2016
 鎌倉淳『死ぬまでに一度は行きたい世界の遺跡』洋泉社 2010
 木曾功『世界遺産ビジネス』小学館 2015
 国末憲人『ユネスコ「無形文化遺産」 生きている遺産を歩く』平凡社 2012
 小谷野敦『日本人のための世界史入門』新潮社 2013
 志村幸雄『人類への贈り物 発見の歴史をたどる』NHK 出版 2013
 須磨章・NHK 世界遺産プロジェクト『世界遺産 知られざる物語』KADOKAWA 2016
 竹谷鞆負『富士山文化 その信仰遺跡を歩く』祥伝社 2013
 D. オドリル, R. スシェ, L. ヴィラール『世界遺産』白水社 2005
 津野田興一『やりなおし高校世界史 考えるための入試問題8問』筑摩書房 2013
 七海ゆみ子『無形文化遺産とは何か』彩流社 2012
 野口健『世界遺産にされて富士山は泣いている』PHP 研究所 2014
 山本作兵衛『新装版 画文集 炭坑に生きる 地の底の人生記録』講談社 2011
 渡辺靖『〈文化〉を捉え直す カルチュラル・セキュリティの発想』岩波書店 2015

グローバル

- 秋田茂・桃木至朗編著『グローバルヒストリーと戦争』大阪大学出版会 2016
 植村和秀『ナショナリズム入門』講談社 2014/10/13
 庄司興吉『地球市民学を創る 地球社会の危機と変革の中で』東信堂 2009
 宮島喬『多文化であることとは 新しい市民社会の条件』岩波書店 2014
 藪中三十二『世界に負けない日本 国家と日本人が今なすべきこと』PHP 研究所 2016
 米山宏史『未来を切り拓く世界史教育の探求』花伝社 2016

ICT

- 小川和也『デジタルは人間を奪うのか』講談社 2014
 葛飾区立本田小学校編『教室に ICT がやってきた 本田小学校のフューチャースクール 導入から定着まで』NTT 出版 2014
 月尾嘉男『IT 社会とコミュニケーション』NHK 出版 2014
 中川一史『ICT 教育 100 の実践・事例集』フォーラム A 2011
 森田幸孝『インターネットが壊した「こころ」と「言葉」』幻冬舎ルネッサンス 2011

The Development of Social Studies Textbook Using Media Symphony :
Senior High School Level Global Unit “*Society of Korea : Religions and Everyday Life*”

Kunihide Kaneko

The purpose of this research is development of senior high school level global unit and its software. Media symphony is an original concept which means the teaching materials using freely hyper linked sentences and images. These will also easily enlarge only by one click and will be read up by artificial voice. Combination of these functions will open a new way to realize such concepts as universal design and hyper textbooks.

In my opinion, it is very important for children and students who study social studies to get the viewpoints which consist of four elements. Four basic elements are space (geography), time (history), universal (civics), and me (self). And these elements lose its power if they are treated separately as if there is no connection between them. So, one of the purposes of my research is to develop multi-dementional teaching material including these points of view.

The result of this research is media symphonic global unit series “Korea”. This paper introduce a pilot unit titled “Society of Korea : Religions and Everyday Life” which tries to respond above demands by developing OS free and universal unit materials and paper-based teaching and learning plans with them. The aim of this content is to make both global and local understanding through studying Korea in four perspectives, and all these perspectives will also be combined as total understanding of Korea. In the last stage students will get four points of view that will be important and useful to treat many other countries. These points consists of 1) society, 2) culture, 3) history, 4) government, economy and foreign affairs.

Lastly, this report paper is concerning pilot study, so I think the final style of media symphonic textbook will be very different style from this pilot one.

Key words : Media symphony, Global unit, “Korea”, OS free, Hyper textbook, Paper-based teaching and learning guide book plans